

# Enterprise Vault™ Compliance Accelerator レビューアガイド

12.3

# Enterprise Vault™ Compliance Accelerator レビュー アガイド

最終更新日: 2018-03-12。

## 法的通知と登録商標

Copyright © 2018 Veritas Technologies LLC. All rights reserved.

Veritas、Veritas ロゴ、Enterprise Vault、Compliance Accelerator、Discovery Accelerator は、Veritas Technologies LLC または同社の米国およびその他の国における関連会社の商標または登録商標です。その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

この製品には、Veritas 社がサードパーティへの帰属を示す必要があるサードパーティソフトウェア（「サードパーティプログラム」）が含まれる場合があります。一部のサードパーティプログラムはオープンソースまたは無償ソフトウェアライセンスの下で利用できます。ソフトウェアに付属している使用許諾契約は、それらのオープンソースまたは無償ソフトウェアライセンスで規定されている権利または義務を変更するものではありません。この Veritas 製品に付属するサードパーティの法的通知文書は次の場所で入手できます。

<https://www.veritas.com/about/legal/license-agreements>

本書に記載する製品は、使用、コピー、頒布、逆コンパイルおよびリバース・エンジニアリングを制限するライセンスに基づいて頒布されています。Veritas Technologies LLC からの書面による許可なく本書を複製することはできません。

文書は「現状有姿のまま」提供され、市販性、特定目的との適合性または権利を侵害していないことを含むすべての明示または黙示の条件、表明および保証は、そのような免責が法的に無効であるとされた場合を除き、免責されます。VERITAS TECHNOLOGIES LLC は本書の供給、実行、または使用に関連した付随的、間接的な損害に対する責任を負わないものとします。本書に含まれる情報は、事前の通知なく変更される場合があります。

ライセンス対象ソフトウェアおよび資料は、FAR 12.212 の規定によって商用コンピュータソフトウェアとみなされ、場合に応じて、FAR セクション 52.227-19「Commercial Computer Software - Restricted Rights」、DFARS 227.7202「Commercial Computer Software and Commercial Computer Software Documentation」、その後継規制の規定により、ベリタスがオンプレミスとして提供したか、ホストサービスとして提供したかにかかわらず、制限された権利の対象となります。米国政府による本ソフトウェアの使用、修正、複製のリリース、実演、表示または開示は、本使用許諾契約の条項に従ってのみ行われるものとします。

Veritas Technologies LLC  
500 E Middlefield Road  
Mountain View, CA 94043

<https://www.veritas.com>

## テクニカルサポート

テクニカルサポートは、世界中にサポートセンターを設けています。すべてのサポートサービスは、サポート契約と、その時点でのエンタープライズテクニカルサポートポリシーに従って提供されます。

サポートサービスとテクニカルサポートに連絡する方法について詳しくは、次の当社の **Web** サイトを参照してください。

[https://www.veritas.com/support/ja\\_JP.html](https://www.veritas.com/support/ja_JP.html)

次の URL で **Veritas Account** の情報を管理できます。

<https://my.veritas.com>

既存のサポート契約に関して当社に問い合わせる場合は、次に示すご利用の地域のサポート契約管理チームに電子メールでお問い合わせください。

全世界 (日本以外)

[CustomerCare@veritas.com](mailto:CustomerCare@veritas.com)

日本

[CustomerCare\\_Japan@veritas.com](mailto:CustomerCare_Japan@veritas.com)

テクニカルサポートに連絡する前に、**Veritas Quick Assist (VQA)** ツールを実行して製品のマニュアルに記載されているシステムの必要条件を満たしていることを確認してください。VQA は **Veritas** サポート **Web** サイトの次の記事からダウンロードできます。

[https://www.veritas.com/support/en\\_US/vqa](https://www.veritas.com/support/en_US/vqa)

## マニュアル

最新版のマニュアルを確認してください。各マニュアルの 2 ページ目に最終更新日が表示されています。最新のマニュアルは **Veritas** の **Web** サイトで入手できます。

[https://www.veritas.com/support/ja\\_JP/article.100040095](https://www.veritas.com/support/ja_JP/article.100040095)

## マニュアルのフィードバック

お客様のフィードバックは当社の財産です。改善点のご指摘やマニュアルの間違い、脱字などのご報告をお願いします。その際、マニュアルのタイトル、バージョン、章タイトル、セクションタイトルも合わせてご報告ください。フィードバックは次のアドレスに送信してください。

[evdocs@veritas.com](mailto:evdocs@veritas.com)

次の **Veritas** コミュニティサイトでマニュアルの情報を参照したり、質問することもできます。

<https://www.veritas.com/community>

# 目次

第 1 章	Compliance Accelerator の概要 .....	7
	Compliance Accelerator の主な機能 .....	7
	Compliance Accelerator クライアントについて .....	8
	Compliance Accelerator クライアントを開く .....	8
	Compliance Accelerator クライアントの使い方 .....	9
第 2 章	アイテムの検索 .....	12
	Compliance Accelerator 検索の作成と実行 .....	12
	特定の種類の Skype for Business コンテンツの検索の制限事項 .....	14
	検索基準オプションについて .....	15
	効果的な検索の実行に関するガイドライン .....	24
第 3 章	手動によるアイテムのレビュー .....	25
	Compliance Accelerator を使ったレビューについて .....	25
	特定の種類の Skype for Business コンテンツのレビューの制限事項 .....	26
	レビューペインについて .....	26
	レビューペインのアイテムのフィルタ処理 .....	30
	アイテムへのレビューマークの割り当て .....	34
	コメントのアイテムへの追加 .....	35
	アイテムの履歴の表示 .....	35
	アイテムの印刷可能バージョンの表示 .....	36
	元のアイテムのダウンロード .....	36
	クリップボードへのアイテムリストのコピー .....	37
	アイテムのエスカレーション .....	37
	エスカレーションアイテムの他のエスカレーションメッセージレビューア .....	38
	への割り当て .....	38
	エスカレーションアイテムのクローズ .....	38
	レビューペインの概観の変更 .....	39
	レビューペインのユーザー設定の設定 .....	40

第 4 章	リサーチフォルダを使った作業 .....	42
	リサーチフォルダについて .....	42
	リサーチフォルダの作成 .....	43
	リサーチフォルダのプロパティの編集 .....	44
	アイテムのリサーチフォルダへのコピー .....	44
	リサーチフォルダのアイテムのレビュー .....	45
	リサーチフォルダからのアイテムのエクスポート .....	45
	リサーチフォルダへのアクセス権の付与 .....	46
	部門レビューセットへのリサーチフォルダ内アイテムのコミット .....	47
	リサーチフォルダからのアイテムの削除 .....	48
	フォルダの削除 .....	48
第 5 章	アイテムのエクスポート .....	50
	アイテムのエクスポートについて .....	50
	特定の種類のコンテンツのエクスポートの制限事項 .....	50
	エクスポート実行 .....	51
	同時エクスポート実行数の制限について .....	55
	例外従業員のレビューセットからのアイテムのエクスポート .....	55
	エクスポート ID を Microsoft Outlook で表示 .....	55
第 6 章	レポートの作成と表示 .....	57
	Compliance Accelerator レポートについて .....	57
	Compliance Accelerator レポートの作成 .....	57
	利用可能な Compliance Accelerator のレポート .....	58
	[コンプライアンススーパーバイザの担当]レポート .....	60
	[部門ロールの詳細]レポート .....	60
	[部門ロールの概略]レポート .....	61
	[部門ごとの差分サンプリングの概略]レポート .....	62
	[ユーザーごとの実効ロール]レポート .....	63
	[部門/従業員ごとの <i>message type</i> レビューの証拠]レポート .....	63
	[部門ごとのアイテムの経過時間]レポート .....	64
	[メッセージの統計の概略]レポート .....	64
	[メッセージの概略]レポート .....	65
	[部門ごとの監視対象 ID]レポート .....	65
	[部門ごとの問題があるアイテム]レポート .....	66
	[部門ごとの担当]レポート .....	66
	[レビューアごとの担当]レポート .....	67
	[部門ごとのレビューアクティビティの概略]レポート .....	67
	[部門ごとのレビューアのアクティビティ]レポート .....	68
	[レビューアのアクティビティの詳細]レポート .....	68
	[レビューアのマップ]レポート .....	69

[未レビューの部門]レポート .....	70
[未管理の部門]レポート .....	70
既存のレポートの表示 .....	71
レポートの削除 .....	71
<b>OData Web サービスを使った Compliance Accelerator データセットの表</b>	
示について .....	72
利用可能な Compliance Accelerator データセット .....	72
Compliance Accelerator データベースへのアクセス .....	74
Microsoft Excel での OData サービスの使用 .....	74
Microsoft SQL Server Reporting Services (SSRS) での OData	
サービスの使用 .....	75
OData エラーのトラブルシューティング .....	76

# Compliance Accelerator の概要

この章では以下の項目について説明しています。

- [Compliance Accelerator の主な機能](#)
- [Compliance Accelerator クライアントについて](#)
- [Compliance Accelerator クライアントを開く](#)
- [Compliance Accelerator クライアントの使い方](#)

## Compliance Accelerator の主な機能

Compliance Accelerator を使って組織は従業員の通信を効率よく監視レビューし、確実に規制内容を順守できます。

Compliance Accelerator の主な機能は次のとおりです。

- 監視対象の従業員を定義し、会社内の部門を反映した組織的な構造にグループ化するシステム。選択した例外従業員のメッセージを別に保存して、特別に割り当てられたレビューアがレビューできます。
- ジャーナルメールボックスの Enterprise Vault アーカイブに送信されたアイテムのランダムサンプルを取得する機能。
- 管理者が Compliance Accelerator を設定し、指名されたレビューアがキャプチャしたアイテムを精査してマーク付けするクライアントアプリケーション。
- すべての監視対象従業員、キャプチャしたアイテム、アイテムに適用したレビュー処理に関する情報を保持する安全な SQL データベース。

# Compliance Accelerator クライアントについて

このクライアントは豊富な機能を持つ Windows アプリケーションです。Compliance Accelerator ユーザーはこのクライアントを使って、レビューするアイテムにマークとコメントを追加することができます。また、管理者は Compliance Accelerator クライアントを使ってアプリケーションの管理とカスタマイズを行うことができます。Compliance Accelerator ユーザーが割り当てられているルールによって、各ユーザーがアクセスできるクライアントの機能が決まります。

このガイドで説明するすべての処理は Compliance Accelerator クライアントで実行してください。

## Compliance Accelerator クライアントを開く

次の点に注意してください。

- Compliance Accelerator クライアントを頻繁に使用していると、Windows デスクトップに起動ショートカットを作成することが考えられます。
- Windows 8/8.1/10 コンピュータ上で Compliance Accelerator クライアントを実行する場合、最適なパフォーマンスのために Windows 7 または Windows XP の互換性モードで実行することをお勧めします。これをする方法のガイドラインについては、Windows のマニュアルを参照してください。

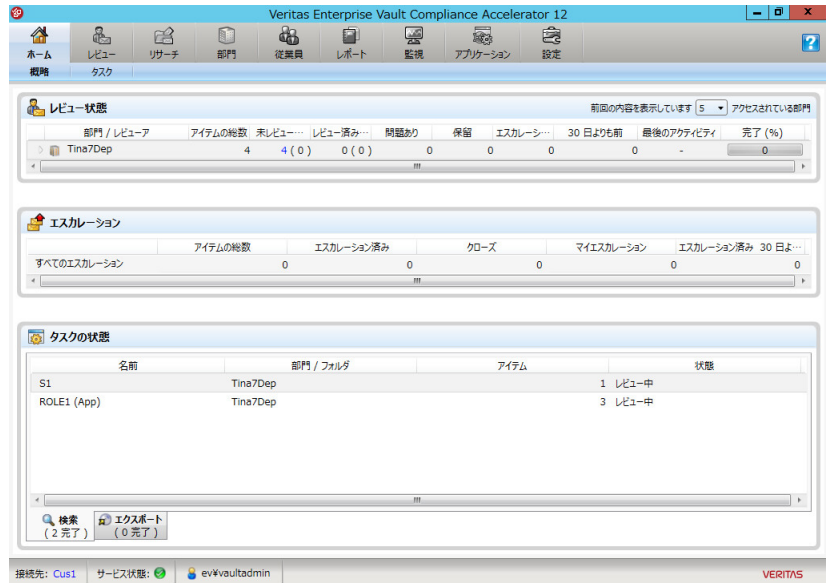
### Compliance Accelerator クライアントを開くには

- 1 Compliance Accelerator クライアントのショートカットをクリックします。  
しばらくして、[接続する Compliance Accelerator インスタンスの選択] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [サーバー]フィールドで、Compliance Accelerator サーバーのソフトウェアが実行されているコンピュータの名前または IP アドレスを入力します。  
IP アドレスは、IPv4 と IPv6 のいずれの形式でも入力できます。
- 3 [インスタンス]フィールドで、アクセスする Compliance Accelerator インスタンス(カスタマーデータベース)を選択します。利用可能なインスタンスが一覧表示されるフィールドの右側にある下矢印をクリックします。  
各インスタンスには、レビューする部門セットの詳細が格納されます。また、関連付けられたユーザーロール、検索結果、リサーチフォルダなども格納されます。したがって、選択するインスタンスが複数ある場合もあります。



- 4 [接続する Compliance Accelerator インスタンスの選択]ダイアログボックスを最初に表示せずに常に同じインスタンスに接続する場合は、[アプリケーションを開くたびに確認する]をクリアします。
- 5 [接続]をクリックします。

しばらくして、Compliance Accelerator クライアントのホームページが表示されます。



### Compliance Accelerator クライアントをクローズする方法


- ◆ ウィンドウの右上にある[クローズ]ボタンをクリックします。

## Compliance Accelerator クライアントの使い方

Compliance Accelerator クライアントでは、割り当てられたロールによってユーザーがアクセスできる機能が決まります。表 1-1 は、最も権限が強いロールのユーザーがアクセスできる機能を示しています。Compliance Accelerator 管理者は、ユーザーへの複数の異なるロールの割り当てと、そのロールに関連付けされた権限の変更を行うことができます。

表 1-1 Compliance Accelerator クライアントの主なタブ

アイコン	タブ	説明
	ホーム	このタブは <b>Compliance Accelerator</b> で実行するアクティビティの状態の主な項目を表示します。また、 <b>Compliance Accelerator</b> で頻繁に実行される可能性のあるアクティビティにすばやいアクセスを提供します。
	レビュー	このタブでは、レビューセットのアイテムを確認し、マークを割り当ててコメントを付けることができます。
	リサーチ	このタブでは、他の <b>Compliance Accelerator</b> レビューアに追加の作業をさせることなく、対象となるアイテムのみを作業できるリサーチフォルダを設定できます。
	部門	このタブでは、 <b>Compliance Accelerator</b> の部門、部門内の従業員、部門に割り当てられたスーパーバイザとレビューアを管理できます。
	従業員	このタブでは、 <b>Compliance Accelerator</b> システムの従業員プロフィールの表示と変更、新しい従業員プロフィールの入力を行うことができます。 <b>Compliance Accelerator</b> を実行するすべての従業員 (管理者とレビューア)、通信の監視対象となるすべての従業員に対してプロフィールを設定する必要があります。
	レポート	このタブでは、レビューアの進捗状況、ロール、担当など、 <b>Compliance Accelerator</b> のさまざまな面に関するレポートを生成できます。
	監視	このタブでは、すべての <b>Compliance Accelerator</b> の検索の状態を監視し、必要に応じて検索を一時停止または再開することができます。

アイコン	タブ	説明
	アプリケーション	<p>このタブから、よく使われるさまざまな管理機能にアクセスできます。このタブをクリックしたときに利用可能なオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ [検索]。複数の部門で実行する検索を作成します。</li> <li>■ [ロール]。ユーザーに割り当て可能なロールの設定と修正を行い、Compliance Accelerator の機能へのユーザーによるアクセスを管理します。</li> <li>■ [ロールの割り当て]。ユーザーに Compliance Accelerator ロールを割り当てます。</li> <li>■ [レビューコメント]。作業対象のアイテムに Compliance Accelerator レビューアが適用できる一般的なコメントのテキストを格納します。</li> <li>■ [パスワード]。Compliance Accelerator を使って検索する重要な単語の一覧を設定します。</li> <li>■ [アーカイブ]。Compliance Accelerator でアイテムを検索する Enterprise Vault アーカイブの一覧をカスタマイズします。</li> </ul>
	設定	<p>このタブから、使用頻度が少ないさまざまな設定機能にアクセスできます。このタブをクリックしたときに利用可能なオプションは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ [検索スケジュール]。設定時刻に繰り返し Compliance Accelerator の検索が実行されるスケジュールを設定します。</li> <li>■ [レビュー状態]。状態の名前([保留]、[問題あり]など)をカスタマイズします。状態の名前は、Compliance Accelerator が[レビュー]ペインにアイテムの状態を示すときに使います。</li> <li>■ [インポート設定]。XML ファイルから Compliance Accelerator に設定データをインポートします。</li> <li>■ [アカウント情報]。Compliance Accelerator が従業員と従業員グループの詳細を同期するときに使う複数の Windows ドメインを指定します。</li> <li>■ [ディレクトリマップ]。Compliance Accelerator で、従業員プロパティと Active Directory などの外部ソースを同期する方法を設定します。</li> <li>■ [部門パーティション]。部門をパーティションにグループ化して、検索範囲を制限します。</li> <li>■ [部門属性]。部門の分類に使う属性を設定します。</li> <li>■ [設定値]。Compliance Accelerator の外観とパフォーマンスをカスタマイズする何百もの設定オプションを設定します。</li> </ul>

# アイテムの検索

この章では以下の項目について説明しています。

- [Compliance Accelerator 検索の作成と実行](#)
- [検索基準オプションについて](#)
- [効果的な検索の実行に関するガイドライン](#)

## Compliance Accelerator 検索の作成と実行

単一の部門でのみ実行する検索または複数の部門で実行するアプリケーションレベルの検索を作成できます。設定時刻に検索を実行したり、反復検索を設定したりする場合には、検索スケジュールを作成できます。検索を作成する前にスケジュールを作成します。

単一の部門でのみ実行する検索を作成するには、キャプチャメッセージ検索権限が必要です。アプリケーションレベルの検索を作成するには、アプリケーション検索権限が必要です。デフォルトでは、部門のルール管理者ロールまたは例外レビューアロールを持つユーザーに前者の権限が割り当てられます。アプリケーションのアプリケーションユーザー管理者ロールを持つユーザーに後者の権限が割り当てられます。

### Compliance Accelerator 検索を作成して実行する方法

- 1 次のいずれかの操作を行います。
  - 複数の部門で実行する検索を作成するには、**Compliance Accelerator** クライアントの[アプリケーション]タブをクリックします。
  - 単一の部門で実行する検索を作成するには、**Compliance Accelerator** クライアントの[部門]タブをクリックし、次に左ペインで目的の部門をクリックします。
  - リサーチフォルダで実行する検索を作成するには、**Compliance Accelerator** クライアントの[リサーチ]タブをクリックし、次に左ペインで目的のフォルダをクリックします。

Compliance Accelerator によって大量の部門やフォルダが一覧表示される場合は、ペインの上部のフィールドを使って一覧をフィルタ処理できます。

- 2 [検索]タブをクリックします。
- 3 [新規検索]をクリックします。

検索のプロパティペインが表示されます。

- 4 リサーチフォルダで実行する検索を作成していて、左ペインで[すべてのリサーチ]をクリックした場合、Compliance Accelerator は検索に関連付ける部門を選択するように要求します。選択し、[検索]をクリックします。
- 5 目的の検索基準を入力します。  
p.15 の「[検索基準オプションについて](#)」を参照してください。

- 6 [保存]をクリックしてすぐに検索を開始するか、またはスケジュール設定済みの検索をキューに登録して決められた時刻に自動的に開始します。

[検索の詳細]ペインは次の情報を提供します。

アーカイブ	Compliance Accelerator によって検索されたアーカイブの名前を示します。
ボリューム	アーカイブを保持するボリュームの ID を表示します。
ボルトストア	アーカイブを含んでいるボルトストアの種類を示します。
状態	各アーカイブの検索の現在の状態を示します。
期間	各アーカイブを検索するために Compliance Accelerator がかけた時間を示します。
ヒット	検索基準に一致する、各アーカイブのアイテム数を示します。
情報	起きたエラーの詳細を提供します。

[表示]一覧のオプションを選択すると、アーカイブ一覧をフィルタ処理できます。たとえば、ヒット数が上位 2000 のアーカイブ、または状態が[エラー]のすべてのアーカイブを表示するようにアーカイブをフィルタ処理することができます。検索の詳細をカンマ区切り値 (CSV) ファイルとしてダウンロードするには、[すべてのアーカイブの検索の詳細をダウンロードする]をクリックします。

- 7 検索が完了したときに、結果の受け入れまたは拒否を選択できます。次の点に注意してください。
- Compliance Accelerator では、検索結果が受け入れられるまでレビューセットにキャプチャしたアイテムは追加されません。[検索結果を自動的に受け入れる]を選択しなかった場合は、結果を手動で受け入れるか、または拒否する必要があります。
  - 検索結果を拒否すると、Compliance Accelerator によってその検索とデータベースからの結果が削除されます。ただし、実際のアイテムはアーカイブに残ります。
  - 受け入れた検索は取り消すことができないため、検索結果は有効な結果であることが重要です。

## 特定の種類の Skype for Business コンテンツの検索の制限事項

Enterprise Vault 12.2 以降には、Skype for Business インスタントメッセージと会議の通信をアーカイブする機能があります。Enterprise Vault はこの通信を個別の電子メール (.eml) ファイルとしてアーカイブします。これは、Compliance Accelerator で Instant Messaging メッセージタイプになります。

Skype for Business の通信には、ユーザーが会議中に共有するホワイトボードと投票を含めることができます。この会議の 2 つの機能のコンテンツは、Enterprise Vault がインデックスを作成できない Microsoft 社独自の XML フォーマットで保存されます。したがって、Enterprise Vault または Compliance Accelerator でこの機能を使ってこれらのアイテムのテキストコンテンツを検索できません。

## 検索基準オプションについて

Compliance Accelerator は検索基準オプションを次に示す複数のセクションにグループ化します。セクションを展開するか、または省略するには、右の矢印のアイコンをクリックします。

複数のオプションを含む検索を構築する場合、検索のプロパティペインで各オプションが他の検索オプションとどのように対話するかに注意してください。Compliance Accelerator は選択したすべてのオプションを、OR ブール演算子ではなく AND ブール演算子でリンクします。たとえば、条件に次のものが含まれている検索を構築するとします。

- [日付範囲]セクションの日付範囲
- [検索語]セクションの検索用語
- [添付ファイル]セクションのファイル拡張子

この検索結果には、すべての検索基準に一致するアイテムのみが含まれます。Compliance Accelerator では、検索基準の一部のオプションに一致しても、他のオプションには一致しないアイテムは無視されます。

[検索プロパティ]ペインには次のセクションがあります。

- 「[検索]セクション」
- 「[サンプリング]セクション」
- 「[日付範囲]セクション」
- 「[作成者と受信者]セクション」
- 「[検索語]セクション」
- 「[添付ファイル]セクション」
- 「[その他]セクション」
- 「[ポリシー]セクション」
- 「[インテリジェントレビュー]セクション」

### [検索]セクション

この[検索]セクションでは、検索の名前と実行時刻を指定します。

コンテキスト	検索を実行する部門またはリサーチフォルダを指定します。アプリケーション全体の検索の場合、これは <すべての部門> です。
名前	検索の名前を指定します(「Daily Message Capture (London)」など)。
検索に基づく	新しい検索のための基準を設定する基礎となる既存の検索を選択することを許可します。
結果の保存先	<p>表示されている場合は、結果を保存する場所を選択できます。結果を保存する新しいフォルダの詳細情報を指定する場合はドロップダウンリストで[&lt;コンテキスト&gt;の新規フォルダ]を選択します。</p> <p>このオプションは、部門にリンクされないフォルダの検索を作成する(左ペインで「マイリサーチ」を選択している)場合にのみ利用可能です。</p>
検索の種類	<p>検索をすぐに実行するか、スケジュール設定済みの時刻に実行するかを指定します。[スケジュール設定済み]を選択すれば、検索が動作する期間を指定できます。またいくつかの既存のスケジュールの 1 つから選択できます。</p> <p>また保証されたサンプル検索を行うことができます。各々の保証されたサンプル検索は、選択されたサンプリング時刻(デフォルトでは午前 1 時)に動作します。検索が監視ポリシーの要求より少数の結果を戻す場合、<b>Compliance Accelerator</b> は不足分を埋め合わせるためにランダムにサンプリングされたアイテムをレビューセットに追加します。したがって、事実上、まったくランダムにサンプリングされたアイテムの代わりに、特定の検索結果の方に重み付けされたより焦点が絞られたレビューセットを作成できます。</p>
検索結果を自動的に受け入れる	<p>検索結果をレビューセットに自動的に追加するかどうかを指定します。このオプションは過去に実行済みの検索を定期的に行う場合に便利です。[検索結果を自動的に受け入れる]を選択した場合、結果を拒否したり、検索基準を変更したりすることはできません。検索で予想した検索結果が得られることを確認するまで、[検索結果を自動的に受け入れる]をクリアしておくことをお勧めします。</p> <p>アーカイブからエラーが返された検索は、この設定にかかわらず、自動的に受け入れられません。</p>
レビュー中の既存のアイテムを含める	検索結果に、以前にキャプチャし、レビューセットに追加したアイテムを含めることができるかどうかを指定します。即時検索またはスケジュール設定済みの検索の場合、他の検索でレビュー中の可能性があるアイテムが結果に含まれるように、このボックスを選択することをお勧めします。



## [サンプリング]セクション

[サンプリング]セクションでは、検索結果をサンプリングして、ランダムに選択したアイテムをレビューセットに追加することができます。

Compliance Accelerator はランダムにサンプリングされたアイテムを重複排除しません。

サンプリングの割合	レビューセットに追加する検索結果の割合を指定します。「10.25」などのように小数点以下の値を指定することもできます。  部門の所有者が部門プロパティのこの設定をロックするとサンプリング割合を変更できない場合があります。
作成者ごとの最小値	作成者 1 人あたりの、レビューセットに追加するアイテムの最小件数を指定します。ある作成者のアイテムが検索結果にない場合、サンプルには追加されません。選択した部門に属していない作成者も対象となるため、予想よりも多くの検索結果が戻される場合があります。
絶対限度	レビューセットに追加する検索結果の総件数の上限を設定します。このオプションは、[サンプルの割合]フィールドと[従業員ごとの最小値]フィールドの値に優先して適用されます。

## [日付範囲]セクション

[日付範囲]セクションでは、アイテムが送受信された日時を基準にアイテムを検索できます。

今日、昨日、最新 7 日間、最新 14 日間、最新 28 日間	選択した期間に送受信されたアイテムのみを検索します。日付範囲は検索が行われる時点(即時検索の場合は当日)を基準にした相対的な範囲です。  これらのオプションは、毎日、毎週、2 週間ごと、4 週間ごとに 1 回実行するようにスケジュール設定された反復検索を作成する場合に便利です。たとえば、週に 1 回検索を実行する場合は、[最新 7 日間]を選択すると、検索範囲は前回検索を実行した後の日付に限定されます。
特定の日付範囲	他の日付範囲オプションで指定できる期間よりも長い期間またはより限定された期間に送受信されたアイテムを検索できます。日付を入力するには、[開始日]フィールドと[終了日]フィールドの右側にあるオプションをクリックし、次に目的の日付を選択します。他の日付範囲フィールドとは異なり、[特定の日付範囲]では範囲が固定されています。検索実行時を基準にした相対的な範囲ではありません。

## 検索の最終実行以降

スケジュール設定済みの検索でのみ、前回の検索実行より後に送受信された新規アイテムを検索できます。このオプションは[今日]や[昨日]などのオプションに類似しています。ただし、それは検索を最初に実行する開始日を明示的に設定できます。

デフォルトでは、このオプションを選択すると、前回の検索が実行された日付(初回の検索の場合は開始日)から現在の日付の 1 日前(昨日)までの範囲が検索対象となります。

## [作成者と受信者]セクション

[作成者と受信者]セクションでは、検索対象の部門と、検索対象のアイテム方向を指定します。パーティションに整理した部門では、同じパーティションの部門で送受信したアイテムのみが検索されます。

### メッセージルート

検索するアイテムが送受信された方向を指定します。選択した部門が送信先または送信元であるアイテムを検索できます。また、選択した部門と他の部門との間で送受信されたアイテムを検索できます。

利用可能なメッセージルートオプションは、指定した日付範囲と、**Compliance Accelerator** がどのように設定されているかによって異なる場合があります。

### いずれか/すべて

選択した部門と従業員のいずれかまたはすべてに検索を適用するかどうかを指定します。

### 継承を使って新しい部門を自動的に含める

アプリケーション全体の検索の場合のみ、選択した部門の子部門に検索を適用するかどうかを指定できます。デフォルトでは、他部門の子部門であるすべての新規部門は、親部門に適用されているすべてのアクティブな反復検索を自動的に継承します。また、反復検索が適用されている部門の下位に既存の部門を移動した場合も同様です。

### 部門ツリー

検索に含める部門と従業員を指定します。部門名の左側にある矢印をクリックして展開し、入れ子になった部門と例外従業員を表示します。

部門を選択しても、部門の例外従業員は自動的に検索対象とはなりません。例外従業員を検索するには、例外従業員を 1 人ずつ明示的に選択する必要があります。

任意の形式の電子メールアドレス/ドメイン 1 つ以上の電子メールアドレスとドメインを入力できます。1 行に各アドレスまたはドメインを入力すると、[差出人]、[宛先]、[CC]、[BCC] フィールドにそのアドレスまたはドメインのいずれかを含むアイテムが検索されます。すべてのアドレスとドメインを 1 行で入力すると、それらがすべて存在するアイテムが検索されます。

アドレスまたはドメインの前にマイナス記号 (-) を配置すると、検索から除外されます。複数のアドレスまたはドメインを除外するには、それらをすべて 1 行で入力します。

メッセージルートによっては、このフィールドを利用できない場合があります。

## [検索語] セクション

[検索語] セクションでは、**Compliance Accelerator** がアイテムの件名と本文で検索する単語またはフレーズを指定します。デフォルトでは、アイテムの件名と内容の両方で単語を検索するとき、**Compliance Accelerator** は 1 つの基準または両方の基準に一致するアイテムを検索します。ただし、両方の基準に一致するアイテムのみを検索するように **Compliance Accelerator** を設定できます。

件名	指定した単語またはフレーズの一部または全部が、件名行または添付ファイルのファイル名に含まれているアイテムを検索します。
内容	指定した単語またはフレーズの一部または全部がアイテム本文や検索可能な添付ファイルに含まれているアイテムを検索します。

ここで指定した単語またはフレーズは、アイテムの検索結果の確認時にレビューペインでハイライトされます。

検索する単語とフレーズを入力する場合は、次のガイドラインに従ってください。

- **Compliance Accelerator** の検索は、大文字と小文字を区別しません。
- 正規表現は許可されません。
- 同じ行に複数の単語を入力した場合、**Compliance Accelerator** ではフレーズとして処理されます。
- [Any of] オプションまたは [All of] オプションを使用して検索基準を絞り込む場合は、各単語をそれぞれ別の行に入力します。  
次の例では、**Compliance Accelerator** によって 3 つの単語が OR 演算子で結合されます (「server OR group OR cluster」)。これらの単語の 1 つ以上を含むすべてのアイテムが検索基準と一致します。

```
Any Of: server
        group
        cluster
```

次の例では、**Compliance Accelerator** によって 3 つの単語が **AND** 演算子で結合されます (「**server AND group AND cluster**」)。この 3 つの単語をすべて含むアイテムのみが検索基準と一致します。

```
All Of: server
        group
        cluster
```

次の例では、**Compliance Accelerator** によって「**server group**」というフレーズと「**cluster**」という単語が **AND** 演算子で結合されます (「**'server group' AND cluster**」)。「**server group**」というフレーズと「**cluster**」という単語の両方を含むアイテムのみが検索基準と一致します。

```
All Of: server group
        cluster
```

- 検索では、アスタリスク(\*)を使って 0 文字以上の文字を表すことができます。疑問符(?)をワイルドカードとして使用する場合は、任意の 1 文字を表します。  
ワイルドカードでの検索は、検索基準に一致し、**Enterprise** ボルト 10.0 以降でアーカイブされたアイテムならば、常に検索されます。**Enterprise Vault 9.0** 以前でアーカイブしたアイテムも検索結果に含まれるようにするには、ワイルドカードの前にワイルドカードではない文字を 3 つ以上入力します。
- 検索結果から次の単語またはフレーズを含んでいるすべてのアイテムを除外することを指定するには、行の先頭にマイナス記号(-)を配置します。たとえば、次の検索語では、「**server**」と「**group**」のいずれかを含むが、「**cluster**」は含まないアイテムが検索されます (「**(server AND NOT cluster) OR (group AND NOT cluster)**」)。

```
Any Of: server
        group
        -cluster
```

検索語は、除外済みの語句のみで構成することができません。このような単語またはフレーズを指定するときには、検索結果に表示する検索対象な語句も指定する必要があります。

- ホットワードとフレーズが作成されている場合は、[ホットワード]をクリックし、ホットワードまたはフレーズを一覧から選択します。
- **Compliance Accelerator** は、プラス記号、マイナス記号、疑問符など、特別な意味がある場合を除いて、検索語の英数字以外の文字を無視します。

たとえば、**US@100** という用語の検索は、**US@100** だけではなく **US 100** と **US\$100** のインスタンスも検索します。したがって、検索語に英数字以外の文字を含めると、予想よりも多くの結果が戻される場合があります。

## [添付ファイル]セクション

[添付ファイル]セクションでは、指定した数または種類の添付ファイルを含むアイテムを検索できます。

**番号** 対象となる添付ファイル数を指定します。デフォルトオプション[重要ではない]の場合、**0** を含む任意の数の添付ファイルを含むアイテムが検索対象となります。その他のオプションを選択する場合、対象となる添付ファイル数を指定する値を **1** つまたは **2** つ入力する必要があります。

**ファイル拡張子** 検索対象となる添付ファイルの種類を表す拡張子を指定します。各拡張子はスペースで区切って入力します。たとえば、**HTML** ファイルまたは **Microsoft Excel** ファイルが添付されているアイテムを検索する場合は、次のように入力します。

.htm .xls

この検索オプションでは、ファイル名のみによって添付ファイルが評価されます。ファイルの種類は確認されません。たとえば、.zip ファイルの拡張子を .zap に変更し、名前を変更したファイルを電子メールの添付ファイルとして送信するとします。**Compliance Accelerator** は .zip 拡張子の付いた添付ファイルを含むアイテムのみを検索し、名前の変更された添付ファイルを含む電子メールは検索しません。

添付ファイルの内容によっては、**Enterprise Vault** でインデックス付けしていないために検索できない場合もあります。特に、**Fax** や音声のようなファイル形式には、インデックス付けできる内容がありません。

**Compliance Accelerator** でファイル名拡張子を指定した検索を実行する方法について詳しくは、**Veritas サポート Web サイト**の以下の記事を参照してください。

<https://www.veritas.com/docs/100008537>

## [その他]セクション

[その他]セクションでは、特定のサイズまたは種類のアイテム、特定の保持カテゴリのアイテムを検索できます。

**メッセージサイズ**

メッセージストア (**Exchange**、**Domino** など) が報告するように、検索する各アイテムのサイズを **KB** 単位で指定します。アイテムのサイズには添付ファイルのサイズも含まれます。

メッセージの種類	選択した種類のアイテムを検索します。
保持カテゴリ	Enterprise Vault が選択済みの保持カテゴリを割り当てたアイテムを検索します。

## [ポリシー]セクション

[ポリシー]セクションでは、任意のポリシー管理ソフトウェアが分類に使ったタグに従ってアイテムを検索できます。

ポリシー	<p>ある特定の分類のポリシーと一致するアイテムの有無を検索できます。複数の種類のポリシーがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ [含める]。ポリシー管理ソフトウェアでレビューセットに含まれるように分類され、最も深刻な非行(ののしり、人種差別、インサイダー取引など)である可能性のあるアイテムです。通常、これらの機能を示すアイテムがレビューセットに含まれるようにすると便利です。</li> <li>■ [除外]。スパムアイテムとニュースレターは、ポリシー管理ソフトウェアがレビューセットから除外するように分類することがあるアイテムの典型的な例です。</li> <li>■ [分類]。ポリシー管理ソフトウェアは、スペイン語のテキストを含むなど特定の性質を表わすアイテムをカテゴリに分類する場合があります。この種類のポリシーは、アイテムをレビューセットに含めるか、またはレビューセットから除外するかの情報を提供しません。</li> </ul> <p>これらのポリシーの種類は相互に排他的ではありません。ポリシー管理ソフトウェアは、同じアイテムに種類が異なる複数のポリシーを適用する場合があります。ただし、含まれるポリシーが他の種類のポリシーに常に優先します。</p> <p>必須のポリシーの種類を選択し、検索するポリシーの名前を選択します。または、ポリシーの種類として[カスタム]を選択し、1 つ以上のポリシー名を入力します。次のように、複数のポリシー名をカンマで区切ります。</p> <p>CustomPolicy1,CustomPolicy2</p> <p>複数のポリシーの検索を選択すると、検索結果にはいずれかのポリシーに一致するアイテムが含まれます。</p>
------	---

現在の部門によるフィルタポリシー リストから現在の部門で使用中にはないポリシーを省略できます。

## [インテリジェントレビュー]セクション

[インテリジェントレビュー]セクションで、Compliance Accelerator の学習エンジンのオプションを選択します。このエンジンにより、Compliance Accelerator はレビューアが以前のアイテムに実行したアクションに基づいてアイテムの検索をインテリジェントに行うこ

とができます。たとえば、レビューアがスパムメッセージまたはオフィス不在の応答に関連なしのアイテムとしてマークを付けると、**Compliance Accelerator** は同様の特性を持つアイテムを検出したときにそれらのアイテムを同じ方法で処理できます。

次の点に注意してください。

- インテリジェントレビュー機能を使う検索では、それを使わない検索に比べ、完了するまでに少し長く時間がかかる場合があります。
- リサーチフォルダ内で実行する検索では、関連部門の学習データが使われます。フォルダ検索には独自の学習データがないため、部門の学習データに貢献することはありません。

**Compliance Accelerator** はアイテムの関連性を判別するためにアイテムのメタデータと送信者から受信者への経路を調べます。ただし、**Compliance Accelerator** はアイテムの内容を評価しません。

#### 学習動作

オプションは次のとおりです。

- [なし]。**Compliance Accelerator** は、インテリジェントレビューを実装せずに、通常の方法でアイテムを検索します。これがデフォルトのオプションです。
- 検索と優先順位付け **Compliance Accelerator** は、いずれかを優先することなく、関連ありと関連なしの両方のアイテムを検索します。したがって、**10% のアイテムをキャプチャし、レビューすることを要求する[サンプルの割合]値**を選択すると、**Compliance Accelerator** は **10% をキャプチャ**しますが、相当な数のアイテムが関連なしとなる可能性があります。しかし、このオプションを使うと、**Compliance Accelerator** はアイテムをレビューセットに追加するときにそのアイテムに対して[未レビュー（関連なし）]または[未レビュー（関連あり）]のいずれかのステータスを付与します。後で[レビュー]ペインでアイテムをレビューするときに、[未レビュー]ステータスを使ってアイテムをフィルタリングして、関連ありと関連なしを区別できます。
- 検索して関連するコンテンツのみをサンプリングする **Compliance Accelerator** は、アイテム全体を検索し、要求された割合をキャプチャするまで関連ありのアイテムのみをキャプチャします。したがって、**10% のアイテムをキャプチャし、レビューすることを要求する[サンプルの割合]値**を選択すると、**Compliance Accelerator** は **10%（すべて関連ありのアイテム）をキャプチャ**します。選択したサンプルの割合を満たすには関連ありのアイテムが少なすぎる場合、**Compliance Accelerator** は関連なしのアイテムで補充します。これは、このオプションと[部門プロパティ]ペインのそれに相当するオプションである[関連するコンテンツのみのサンプル抽出]との重要な違いです。

## 効果的な検索の実行に関するガイドライン

検索の実行時に最適な結果を得るには、次のガイドラインに従ってください。

- 正確な検索を行います。たとえば、作成者または受信者の詳細を含めたり、日付範囲を指定したりします。
- 部門のプロパティで、検索可能なボルトストアの数を制限します。
- ワイルドカードはパフォーマンスに重大な影響を及ぼす可能性があるため、必要な場合にのみ使います。
- 検索語は使い過ぎないようにします。数千もの用語を使うと、検索が繰り返して実行される可能性があります。
- スケジュール設定済みの検索がシステムバックアップと同時に実行されないことを確認します。
- データベースの空きがなくなったり速度が低下したりするのを回避するために、検索は迅速に受け入れるか、拒否します。
- リサーチフォルダで新しい検索をテストし、その後、必要に応じてフォルダを削除します。



# 手動によるアイテムのレビュー

この章では以下の項目について説明しています。

- [Compliance Accelerator](#) を使ったレビューについて
- レビューペインについて
- レビューペインのアイテムのフィルタ処理
- アイテムへのレビューマークの割り当て
- コメントのアイテムへの追加
- アイテムの履歴の表示
- アイテムの印刷可能バージョンの表示
- 元のアイテムのダウンロード
- クリップボードへのアイテムリストのコピー
- アイテムのエスカレーション
- レビューペインの概観の変更
- レビューペインのユーザー設定の設定

## Compliance Accelerator を使ったレビューについて

検索を実行して関連する可能性のあるアイテムを収集した後、選択された個人が検索結果をレビューできます。アイテムを確認した後で、レビューアが適切な状態マークをアイテムに割り当て、必要に応じてコメントを追加します。アイテムを複数回レビューしたり、他のレビューアがコメントを追加したり、割り当てられたマークを変更したりできます。

部門にスーパーバイザを割り当てる場合は、レビューアが適用したマークとコメントをスーパーバイザが評価し、評価マークとコメントを追加できます。

標準の **Compliance Accelerator** システムには、部門レビューア、エスカレーションレビューア、例外レビューア、下級レビューアなど、多数の事前定義済みレビューロールが付属しています。これらのロールには次の特徴があります。

- 下級レビューアロール以外のすべてのロールではユーザーがアイテムにレビューマークを割り当てることができます。
- 下級レビューアはアイテムとレビュー履歴を表示できますが、レビューマークの割り当てと変更はできません。ただし、下級レビューアは他のユーザーがレビューしたアイテムに評価マークを割り当てることができます。
- 例外レビューアは割り当てられた例外従業員のアイテムのみを表示できます。
- エスカレーションレビューアは部門内の他のレビューアがより詳細なレビューを行うためにより高レベルの権限のレビューアにエスカレーションしたことを通知するアイテムを受信できます。

#### レビューペインにアクセスする方法

- ◆ **Compliance Accelerator** クライアントの[レビュー]タブをクリックします。

## 特定の種類の Skype for Business コンテンツのレビューの制限事項

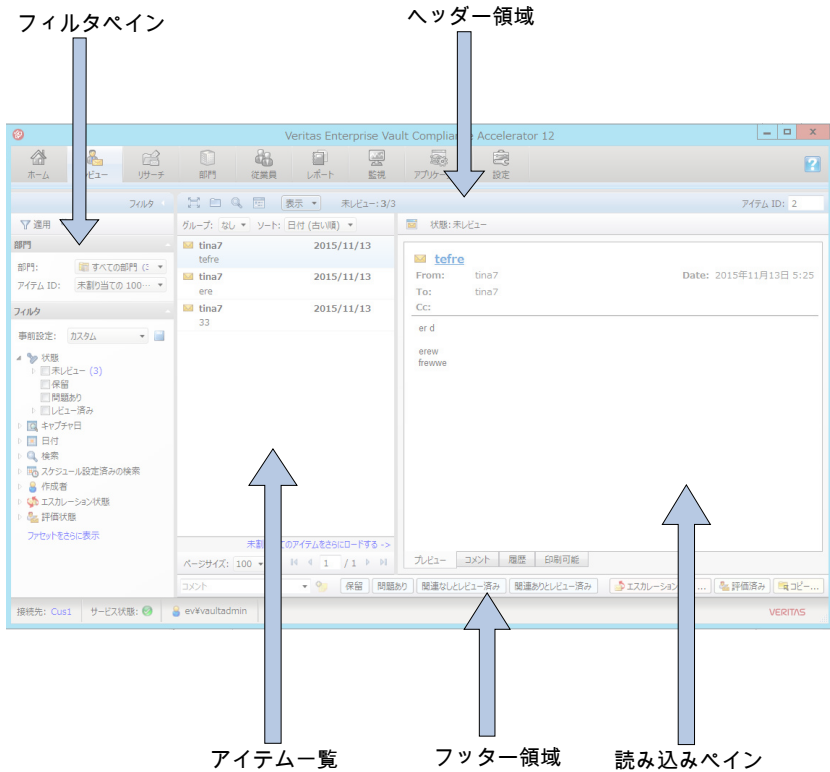
**Enterprise Vault 12.2** 以降には、**Skype for Business** インスタントメッセージと会議の通信をアーカイブする機能があります。**Enterprise Vault** はこの通信を個別の電子メール (.eml) ファイルとしてアーカイブします。これは、**Compliance Accelerator** で **Instant Messaging** メッセージタイプになります。

**Skype for Business** の通信には、ユーザーが会議中に共有するホワイトボードと投票を含めることができます。この会議の 2 つの機能のコンテンツは、**Enterprise Vault** がインデックスを作成できない **Microsoft** 社独自の XML フォーマットで保存されます。これは、ホワイトボードと投票が **Compliance Accelerator** の[レビュー]ペインに表示される方法に次のように影響します。

- アイテムのコンテンツが XML 添付ファイルとして格納されます。
- ホワイトボードの印刷可能バージョンのプレビューまたは表示は行えません。投票の質問は表示できますが、それらへの回答は表示できません。

## レビューペインについて

レビューペインはレビューセットのアイテムを見直し、マーク付けすることを可能にします。ペインは次の領域に分かれています。



以下のセクションでは、レビューペインの各領域について説明します。

- 「ヘッダー領域」
- 「フィルタペイン」
- 「アイテム一覧」
- 「閲覧ペイン」
- 「フッター領域」

## ヘッダー領域

ヘッダー領域には、ビューをカスタマイズするオプションと別のアイテムを選択して表示するオプションが表示されます。



Compliance Accelerator のウィンドウの上部のボタンバーを隠すことによってレビューペインを最大化します。このボタンを再度クリックすると、ボタンバーが復元されます。



詳細な調査を行うためにリサーチフォルダにコピーしたアイテムを表示できます。

p.42 の「[リサーチフォルダについて](#)」を参照してください。



現在選択されているアイテムに基づく検索を実行できます。



レビューペインの環境設定を設定します。

p.40 の「[レビューペインのユーザー設定の設定](#)」を参照してください。

表示

閲覧ペインを隠したり位置を変更したり、ペインに表示するテキストのサイズを設定したりすることができます。

未レビュー

リストのうち、まだレビューしていないアイテム数を示します。

アイテム

ハイライトされたアイテムの **Compliance Accelerator ID** を表示します。レビュー対象のアイテムの **ID** を知っていたら、それをここに入力し、**Enter** キーを押してそのアイテムを表示します。

グループ

日付、作成者、件名、ポリシー処理、または関連性によってリストのアイテムをグループ化します。

左の下矢印ボタンまたは上矢印ボタンのクリックによってグループのアイテムを表示するか、または隠します。

ソート

アイテムをグループ化しないことを選択したリストでは日付、作成者、件名、ポリシー処理、または関連性によってアイテムをソートできます。



現在のアイテムを原型でダウンロードし、適切なアプリケーションで開きます。またアイテムを右クリックして[元の表示]をクリックすることによってアイテムをダウンロードできます。



印刷のために現在のアイテムを送信します。

マーク

現在のアイテムに割り当て済みのマークを示します。

状態

現在のアイテムの状態を表示します。

## フィルタペイン

フィルタペインはリストのアイテムをフィルタ処理できる多数の基準を提供します。フィルタの各オプションの隣の番号は、選択したフィルタを適用するとき **Compliance Accelerator** がアイテムリストに追加する一致するアイテム数を示します。

p.30 の「[レビューペインのアイテムのフィルタ処理](#)」を参照してください。

## アイテム一覧

アイテム一覧は選択したフィルタのオプションと一致するレビューセット内のアイテムを示します。リストの下部にあるコントロールを使用してアイテムのページをめくったり、ページごとに表示するアイテムの最大数を指定します。未レビューアイテムは太字で表示されます。

色が青になっているアイテムはいずれも、部署に関連付けられているリサーチフォルダにあります。関連性でアイテムをソートすることを選択すると、関連なしのアイテムがグレーの背景付きで表示されます。

---

**メモ:** **Compliance Accelerator** はアイテムの日時の値を協定世界時 (UTC) として格納します。ただし、アイテムリストと右の[プレビュー]ペインでは、コンピュータのローカルタイムゾーンの設定に従ってこれらの値を変換します。その結果、異なるタイムゾーンの 2 人の **Compliance Accelerator** レビューアに対して、同じアイテムに異なる日時が表示されることがあります。

これは予測どおりの動作であり、**Microsoft Outlook** などのアプリケーションがアイテムの日時を表示する方法と同じです。

---

## 閲覧ペイン

閲覧ペインの下部のタブには次の機能があります。

プレビュー	現在のアイテムの HTML のプレビューを表示します。
コメント	現在のアイテムにレビューアが割り当てたコメントを示します。
履歴	現在のアイテムのコメントと監査履歴を表示します。
印刷可能	現在のアイテムの印刷可能バージョンを表示します。

## フッター領域

フッター領域には、あるアイテムから別のアイテムにナビゲートする機能とマークとコメントをアイテムに適用する機能があります。



レビューするアイテムの最初のページを表示します。



レビューするアイテムの前のページを表示します。**Alt+z** キーを押すと同じ機能を実行できます。

*n (m)*

現在表示されているページの番号とページの合計数を示します。特定のページに移動するには、フィールドに番号を入力して **Enter** キーを押します。



レビューするアイテムの次のページを表示します。**Alt+x** キーを押すと同じ機能を実行できます。



レビューするアイテムの最後のページを表示します。

コメント

コメントを入力して選択されたアイテムに追加できます。

アイテム一覧では、1 つ以上のコメントがアイテムに追加されると [存在するコメント] 列にコメントインジケータ記号が表示されます。

保留、問題あり、レビュー済み、関連なしとレビュー済み、関連ありとレビュー済み

選択されたアイテムに必要なマークを付けます。

一括レビュー処理適用権限があれば複数のアイテムに一度にマーク付けできます。



表示されている場合は、1 人以上のエスカレーションレビューアに選択アイテムを割り当て、さらに監査とレビューを行うことができます。



表示されている場合、コンプライアンススーパーバイザはアイテムを評価済みとしてマーク付けできます。



表示されている場合は、レビューセットから 1 つ以上のアイテムを削除できます。



表示されている場合は、他のレビューアが参照できるように、リサーチフォルダの選択アイテムかすべてのアイテムをレビューセットにコミットできます。



表示されている場合は、エスカレーションアイテムを別のエスカレーションレビューアに割り当てることができます。



表示されている場合は、作業が終わり次第エスカレーションアイテムをクローズすることができます。クローズしたアイテムは別のエスカレーションレビューアに表示されますが、他のエスカレーションレビューアは、部門レビューアがアイテムを再エスカレーションしないと、処理を実行できません。



表示されている場合は、現在のレビューセットの選択アイテムまたはすべてのアイテムのコピー先リサーチフォルダを選択できます。

## レビューペインのアイテムのフィルタ処理



レビューペインの左側にあるオプションは、レビューを行うアイテムをフィルタ処理できる多数の基準を提供します。

レビューペインのアイテムをフィルタ処理する方法

- 1 [モード]ドロップダウンリストで、レビューセットのアイテムの標準レビューを実行するか、またはエスカレーションメッセージのレビューを実行するかを選択します。
- [エスカレーションメッセージのレビュー]モードはエスカレーションレビューアのみが利用可能です。エスカレーションレビューアは、さらに評価するためにその他のレビューアによってエスカレーションされたアイテムを表示、マーク付けできます。
- 2 フィルタペインの先頭の[部門]ドロップダウンリストで、レビューセットにアイテムを表示する部門またはフォルダを選択します。
- 3 [アイテム]ドロップダウンリストで、レビューするアイテムのグループを選択します。オプションは次のとおりです。

一時的な割り当て	このオプションでは、レビューセット内の特定の数のアイテムを予約できます。作業が完了するまで、他のレビューアはこれらのアイテムを参照できません。
すべてのアイテム	<div>このオプションでは、アイテムが他のレビューアに割り当てられている場合でも、レビューセットのすべてのアイテムを表示できます。</div> <div>このオプションを使うと、他のレビューアの作業と重複することがあります。したがって、他のレビューアが同時に作業していない場合、またはマーク付けせずにアイテムを参照する場合にのみこのオプションを選択することを推奨します。</div>

- 4 [フィルタ]セクションでは、適用するファセット(アイテムの分類)を選択します。利用可能な値を表示するには、ファセットの名前または名前の左側にある矢印をクリックします。
- 次の表は利用可能なすべてのファセットをリストしたものです。

 Author	アイテムを送信した人の名前を基準にアイテムを選択します。
 キャプチャ日	指定した期間に Compliance Accelerator がキャプチャしたアイテムを選択します。



#### キャプチャ方法

**Compliance Accelerator** がアイテムをキャプチャしてレビューセットに追加した方法を基準にアイテムを選択します。オプションは次のとおりです。

- [検索]。検索後にキャプチャされたアイテムを選択します。
- [ランダムサンプリング]。指定した監視ポリシーに従って、**Compliance Accelerator** がキャプチャしてレビューセットに追加したアイテムを選択します。
- [アドホック]。リサーチフォルダに追加されたアイテムを選択します。
- [保証されたサンプル検索]。保証されたサンプル検索の結果を選択します。



#### コメント

レビューアがコメントを追加したアイテムを選択します。



#### 日付

作成された日付を基準にアイテムを選択します。



#### Direction

指定した方向に送受信されたアイテムを選択します。オプションは次のとおりです。

- [内部]。作成者とすべての受信者が組織内部の人間であるアイテムを選択します。
- [外部インバウンド]。作成者が組織外部の人間で、受信者のうち少なくとも 1 人が組織内部の人間であるアイテムを選択します。
- [外部アウトバウンド]。作成者が組織内部の人間で、受信者のうち少なくとも 1 人が組織外部の人間であるアイテムを選択します。



#### エスカレーション実行者

アイテムをエスカレーションレビューア宛てにエスカレーションしたユーザーを基準にアイテムを選択します。



#### エスカレーションメッセージ所有者

アイテムを担当するエスカレーションレビューアを基準にアイテムを選択します。



#### エスカレーション状態

アイテムがエスカレーションレビューア宛てにエスカレーションされたかどうか、またはその後レビューアによってクローズされたかどうかを基準にアイテムを選択します。



#### マーク付けの最終実行者

アイテムに最後にマークを割り当てたレビューアを基準にアイテムを選択します。



#### 添付ファイルの数







アイテムの添付ファイルの数を基準にアイテムを選択します。



#### ポリシー

ポリシー管理ソフトウェアがタグ付けに使ったポリシーによってアイテムを選択します。



	ポリシーの処理	<p>ポリシー管理ソフトウェアがタグ付けに使ったポリシーの処理によってアイテムを選択します。この処理は次のいずれかです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ [含める](レビューセットのキャプチャを要求または提案する)。</li> <li>■ [除外](レビューセットのキャプチャを除外するか、キャプチャしないことを推進する)。</li> </ul>
	スケジュール設定済みの検索	1 つ以上のスケジュール設定済みの検索によりキャプチャされたアイテムを選択します。
	検索	1 つ以上の検索によりキャプチャされたアイテムを選択します。
	サイズ (KB)	サイズ (KB) を基準にアイテムを選択します。
	状態	アイテムの状態([保留]、[問題あり]など)を基準にアイテムを選択します。
	種類	種類を基準にアイテムを選択します。

次の点に注意してください。

- 各ファセット値にはハイパーリンクが設定されています。このハイパーリンクをクリックすると、その値が選択され、それに応じてただちにアイテム一覧がフィルタ処理されます。フィルタから削除するには、再びそのファセット値をクリックします。同じファセット内で 1 つ以上の値がすでに選択されている場合は、別の値をクリックすると他の値が選択解除されます。ただし、別のファセット内で選択されている値は影響を受けません。
- ファセット値の横にある数字は、一致するアイテムの数を示します。フィルタの適用後、アイテム一覧に存在するアイテムの数を示す数字が **Compliance Accelerator** によって更新されます。たとえば、最初の状態では、[作成者]ファセット値にレビューセット全体の一致するアイテムの数が表示されているとします。その後、[状態]ファセット値を[未レビュー]に設定してからこのフィルタを適用すると、[作成者]の値が更新され、各作成者の未レビューのアイテムの数のみが表示されます。  
ファセット値がイタリック体のフォントで表示される場合、一致するアイテムは現在のアイテム一覧に存在しません。
- 1 つのファセットに 2 つ以上の値を選択すると、**Compliance Accelerator** はいずれかの値に一致するアイテムを検索します。たとえば、[保留]と[問題あり]の両方の値を選択することで、そのいずれかの状態にあるすべてのアイテムを表示するように選択できます。  
2 つ以上の異なるファセットに値を選択すると、**Compliance Accelerator** はすべてのファセットに一致するアイテムを検索します。たとえば、[状態]の値に[保

留]、[種類]の値に[Exchange]を選択すると、状態が[保留]で、かつ種類が[Exchange]であるアイテムのみが一致します。

- ファセットに選択可能な値が多数ある場合は、**Compliance Accelerator** は最も関連のある値の簡略一覧を表示します。一覧の最後にある青いハイパーリンクをクリックすることによって、さらに値をリストに追加できます。
- レビューペインのアイテムのフィルタ処理で同じファセット設定を頻繁に使う場合は、[事前設定]フィールドの右にある[保存]ボタンをクリックすることによって、その設定を事前設定として保存できます。その後、ドロップダウンリストから事前設定を選択することによってこの設定を簡単に適用できます。
- ファセット値を右クリックすることによって、アイテムにマークを適用できます。たとえば、特定の作成者を基準にすべてのアイテムにマーク付けするには、一覧にあるその作成者の名前を右クリックしてから[アイテムをすべてマーク付け]をクリックします。

5 フィルタペインの先頭で[適用]をクリックします。

## アイテムへのレビューマークの割り当て

レビュー処理の一部として、レビューに問題がなかったこと、または問題があるため問い合わせる必要があることを示す状態マークを各メッセージに割り当てます。

割り当てられた権限によって、一度に複数のメッセージに状態マークを割り当てることができるかどうかが決まります。一度に複数のメッセージにマーク付けするには、一括レビュー処理適用権限が必要です。また、一度に 1 つのメッセージにマーク付けするには、レビュー処理適用権限が必要です。デフォルトでは、コンプライアンススーパーバイザ、部門レビューア、例外レビューアは両方の権限を所有します。

ヒント:

- アイテムリストでは、未レビューアイテムのヘッダーは太字のフォントで表示されます。
- 左ペインのオプションを右クリックして目的のマークを選択することによって、ある特定のフィルタのオプションと一致するすべてのアイテムにすばやくマーク付けできます。
- 一覧ビューのアイテムを右クリックすると、レビューセット内のアイテムに一括でマーク付けする追加コマンドにアクセスできます。

### レビューマークをアイテムに割り当てる方法

- 1 レビューペインで、マークを付けるアイテムを選択します。  
複数の隣接したアイテムを選択するには、最初のアイテムをクリックし、**Shift** キーを押しながら最後のアイテムをクリックします。隣接していないアイテムを選択するには、最初のアイテムをクリックし、**Ctrl** キーを押しながら追加のアイテムをクリックします。すべてのアイテムを選択するには、**Ctrl+A** を押します。
- 2 ペインの右下にある目的のマークをクリックします。しばらくすると、**Compliance Accelerator** によってアイテムの状態が変更されます。

## コメントのアイテムへの追加

アイテムにレビューマークを割り当てるだけでなく、コメントを追加できます。

割り当てられた権限によって追加できるコメントの種類が決まります。独自レビューコメント追加権限がある場合には、自分自身の言葉でコメントを追加できます。標準レビューコメント追加権限を持つ場合には、事前設定済みの一覧から追加するコメントを選択できます。デフォルトでは、コンプライアンススーパーバイザ、部門レビューア、例外レビューアのロールを持つユーザーに両方の権限が割り当てられます。

### コメントをアイテムに追加するには

- 1 レビューペインで、コメントを追加する 1つ以上のアイテムを選択します。
- 2 権限レベルに応じて、ペインの下にある[コメント]フィールドに新しいコメントを入力するか、事前定義済みコメントの一覧から選択します。
- 3 [コメント]フィールドの右側にあるボタンをクリックします。

**Compliance Accelerator** はコメントを追加したことを示すためにアイテムリストの[存在するコメント]列にコメントインジケータを表示します。

アイテムに割り当て済みのコメントを表示するために読み込みペインの下部で[コメント]タブをクリックします。また、アイテムリストの列をカスタマイズしてアイテムのコメントを表示する列を追加できます。

## アイテムの履歴の表示

**Compliance Accelerator** では、選択アイテムにレビューアがマークやコメントを割り当てた日時のような選択アイテムの履歴の情報に簡単にアクセスできます。

### アイテムの履歴を表示するには

- 1 レビューペインで、履歴を表示するアイテムを選択します。
- 2 読み込みペインの下部で[履歴]タブをクリックします。

**Compliance Accelerator** は次の詳細を表示します。

- 件名、日付、送信者と受信者の詳細
- Microsoft Exchange、Bloomberg などのアイテムの種類、アイテムの方向 (内部、外部インバウンドまたは外部アウトバウンド)
- Compliance Accelerator でアイテムをキャプチャした部門
- Compliance Accelerator でアイテムをキャプチャした日時と方法
- Compliance Accelerator 内のアイテムの ID
- アイテムのアーカイブ元の場所
- アイテムの処理状態の履歴。この履歴は、アイテムのプレビューまたは印刷可能バージョンを表示したレビューア、アイテムの元のバージョンをダウンロードしたレビューア、マーク付けしたレビューア、およびレビューアがそれらを行った日時を識別します。レビューセットからリサーチフォルダにコピーしたアイテムの履歴を表示している場合、状態履歴リストで青になっているイベントは、フォルダにアイテムをコピーする前に実行されました。
- アイテムが評価またはエスカレーションされた日時に関する追加情報 (適切な権限がある場合)
- ポリシー管理ソフトウェアがアイテムのタグ付けに使ったポリシーとポリシー処理
- SMTP アイテムの場合は、Enterprise Vault が X-header に追加した属性情報

## アイテムの印刷可能バージョンの表示

印刷に適した形式でアイテムの内容を表示できます。

### アイテムの印刷可能バージョンを表示する方法

- 1 レビューペインで、印刷するアイテムを選択します。
- 2 読み込みペインの下部で[印刷可能]タブをクリックします。

Compliance Accelerator はアイテムの印刷可能バージョンを表示します。

アーカイブからアイテムを削除した場合、Discovery Accelerator にそのメタデータが表示されますが、その内容は表示されません。

- 3 印刷のためにアイテムを送信するには閲覧ペインの先頭で[印刷]ボタンをクリックします。

## 元のアイテムのダウンロード

アイテムから作成される HTML を表示するほかに、元の形式でコンピュータにアイテムをダウンロードできます。レビューアが割り当てたコメントなどの監査情報はダウンロードされ

たアイテムには含まれません。アイテムと監査情報の両方を取得する場合は、**Compliance Accelerator** からアイテムをエクスポートする必要があります。

アイテムをダウンロードするには、メッセージレビュー権限が必要です。デフォルトでは、すべてのレビューアとスーパーバイザにこの権限が割り当てられています。

#### アイテムの元のバージョンをダウンロードする方法

- ◆ レビューペインで次のいずれかの操作をします。
  - ダウンロードするアイテムをクリックし、次に読み込みペインの上の[元のアイテムの表示]ボタンをクリックします。
  - アイテムを右クリックして[元の表示]をクリックします。

**Compliance Accelerator** によってアイテムがコンピュータにダウンロードされ、適切なアプリケーションを使って表示されます。

## クリップボードへのアイテムリストのコピー

アイテムリストの 1 行またはすべての行を **Windows** のクリップボードにコピーして、**Microsoft Excel** などの表計算アプリケーションに貼り付けることができます。コピー情報には、各アイテムの **Enterprise Vault** 保存セット ID など、**Compliance Accelerator** のリストには表示されない追加情報が含まれます。アイテムリストの一部の列を非表示に設定したとしても、すべての情報がコピーされます。

#### クリップボードへアイテムリストをコピーする方法

- 1 レビューペインで次のいずれかの操作をします。
  - アイテムリストの単一行をコピーするには、行を右クリックして[アイテムの詳細をクリップボードにコピーします]をクリックします。
  - すべての行をコピーするには、最初に **Ctrl+A** を押してすべての行を選択します。それから右クリックして[アイテムの詳細をクリップボードにコピーします]をクリックします。
- 2 情報を貼り付けるアプリケーションを開きます。
- 3 通常の方法で情報を貼り付けます。

## アイテムのエスカレーション

**Compliance Accelerator** では、さらに評価するためにエスカレーションレビューアと呼ばれる 1 つ以上レベルが高い権限のレビューアに、レビュー対象のアイテムをエスカレーションできます。アイテムをエスカレーションした後は、権限によって許可されるレビュー処理を引き続き実行できます。たとえば、必要な権限があれば、レビューマークを割り当てたり、エスカレーションされたアイテムにコメントを追加したりできます。ただし、エスカ

レーションレビューアがこのエスカレーションアイテムをオープンしている間はアイテムを再びエスカレーションできません。

すべてのエスカレーションアイテムはすべてのエスカレーションレビューアに表示されます。

アイテムをエスカレーションするには、メッセージエスカレーション権限が必要です。デフォルトでは、例外レビューアと部門レビューアにこの権限が割り当てられています。

#### アイテムをエスカレーションする方法

- 1 レビューペインで、エスカレーションする 1 つ以上のアイテムを選択します。
- 2 ペインの右下にある[エスカレーション]ボタンをクリックします。
- 3 アイテムを割り当てる一人以上のエスカレーションレビューアを選択します。[デフォルト]オプションを選択すると、**Compliance Accelerator** は、部門内でデフォルトで指定されているレビューアにエスカレーションアイテムを割り当てます。
- 4 [OK]をクリックします。

## エスカレーションアイテムの他のエスカレーションメッセージレビューアへの割り当て

エスカレーションメッセージレビューアは、別のエスカレーションメッセージレビューアがそのアイテムの所有権を持つように、自分宛てにエスカレーションされたアイテムを再割り当てできます。他のエスカレーションメッセージレビューアは、エスカレーションアイテムの所有権がなくてもアイテムを処理できます。ただし、**Compliance Accelerator** ではレビューセットのフィルタ処理ができるのはエスカレーションアイテムの所有者であるため、所有権を再割り当てすることによって、重要でないアイテムを取り除くことができます。

#### エスカレーションアイテムを別のエスカレーションメッセージレビューアに割り当てる方法

- 1 レビューペインの左の[モード]ドロップダウンリストで、[エスカレーションメッセージのレビュー]が選択されていることを確認します。
- 2 別のレビューアに割り当てる 1 つ以上のアイテムを選択します。
- 3 ペインの右下にある[別のレビューアに割り当てます]ボタンをクリックします。
- 4 アイテムを割り当てる一人以上のエスカレーションレビューアを選択します。[デフォルト]オプションを選択すると、**Compliance Accelerator** は、部門内でデフォルトで指定されているエスカレーションレビューアにアイテムを割り当てます。
- 5 [OK]をクリックします。

## エスカレーションアイテムのクローズ

エスカレーションレビューアは、作業が終了したらエスカレーションアイテムをクローズすることができます。クローズしたアイテムは別のエスカレーションレビューアに表示されま

すが、他のエスカレーションレビューアは、部門レビューアがアイテムを再エスカレーションしないと、処理を実行できません。

### エスカレーションアイテムをクローズする方法

- 1 レビューペインの左の[モード]ドロップダウンリストで、[エスカレーションメッセージのレビュー]が選択されていることを確認します。
- 2 クローズする 1 つ以上のアイテムを選択します。
- 3 ペインの右下にある[クローズ]ボタンをクリックします。

## レビューペインの概観の変更

作業方法に合うように、またアイテムをすばやく見つけるのに役立つように、レビューペインの外観をカスタマイズできます。

表 3-1 レビューペインをカスタマイズする方法

用途	操作
利用可能空間を占有するためにレビューペインを展開します。	アイテムリストの上の[レビュー画面の展開]ボタンをクリックします。
読み込みペインの位置を変更します。	次にアイテムリストの上の[表示]をクリックし、[読み込みペインのレイアウト]をポイントし、目的の位置を選択します。  メインウィンドウの下部か右側に読み込みペインを置くか、またはそれをメインウィンドウから取り外し、新しいウィンドウで内容を表示することができます。
読み込みペインのテキストのサイズを変更します。	アイテムリストの上の[表示]をクリックし、[読み込みペインのテキストのサイズ]をポイントし、目的のサイズを選択します。
アイテムリストの列を表示または非表示にします。	アイテムリストの列見出しを右クリックし、[列を選択]をポイントし、表示または非表示にする列を選択します。それから[変更を適用]をクリックします。
アイテムリストのアイテムをソートします。	列のエントリによってアイテムをソートするためにアイテムリストの列見出しをクリックします。  列見出しの矢印の方向はエントリがソートされるのは昇順かまたは降順かを示します。
日付、作成者、件名、またはポリシー処理によってアイテムをグループ化します。	アイテムリストの上の[グループ]フィールドで目的のオプションを選択します。  グループの左側にある矢印をクリックしてグループのアイテムを表示または非表示にします。

用途	操作
1 ページに表示するアイテムの最大数を指定します。	アイテムリストの下の[ページサイズ]フィールドで、対象となるアイテムの数を選択します。

## レビューペインのユーザー設定の設定

Compliance Accelerator が提供する広範な機能を使って、レビューペインの外観と操作をカスタマイズできます。

### レビューペインのユーザー設定を設定する方法

- 1 レビューペインのヘッダー領域の[レビュー設定]ボタンをクリックします。

[レビュー設定]ダイアログボックスが表示されます。

- 2 [全般]タブで目的のオプションを選択します。オプションは次のとおりです。

アプリケーションの起動時にレビュー画面を表示する	選択すると、 <b>Compliance Accelerator</b> を起動したときにレビューペインに直接進むことができます。
アプリケーションの起動時にデフォルトの事前設定を適用する	選択すると、アイテム一覧のアイテムにデフォルトのフィルタのオプションが適用されます。
終了時に現在の事前設定をデフォルトとして保存	選択すると、レビューペインのためのデフォルトオプションとして現在のフィルタのオプションを保存します。
マーク付け後、次のアイテムに移動	選択すると、アイテムにマーク付けするときに、 <b>Compliance Accelerator</b> によってリストの次のアイテムが自動的に表示されます。



表示するアイテムの最大数

レビューペインで表示できるアイテム数の制限を設定します。

3

[表示]タブで目的のオプションを選択します。オプションは次のとおりです。

フォント	レビューペインのすべてのボタンとラベルで使うフォントを設定します。
アイテム一覧のフォント	アイテム一覧で使うフォントを設定します。
読み込みペインのフォント	読み込みペインで使うフォントを設定します。
アイテム一覧の表示の種類	<p><b>Compliance Accelerator</b> が単一行または複数行のどちらのレイアウトで一覧にアイテムを表示するかを指定します。複数行レイアウトでは、アイテム情報は 2 行以上で表示されます。最初の行には送信者が表示され、2 行目にはアイテムのヘッダーの[件名]フィールドのテキストが表示されます。</p> <p>[自動]を選択すると、単一行でヘッダーを表示するには画面の領域が不足している場合に <b>Compliance Accelerator</b> は自動的に複数行レイアウトに切り替えます。</p>
読み込みペインの検索語をハイライト	検索語のハイライトを有効または無効にします。
テキスト入力にポップアップを使う	レビューペインのテキスト入力フィールド ([コメント]フィールドなど) に文字を入力するときの動作を指定します。このオプションを選択すると、文字を入力する際に別のポップアップウィンドウにその文字が表示されます。これによって、新しい文字の入力時にも前の文字は表示されたままになるため、一度にすべての文字を表示できます。
処理ボタンのテキストを表示しない	選択すると、プレビューペインの下にある処理ボタンのテキストラベルは削除されます。
読み取りペインに元の場所を表示する	選択すると、現在のアイテムのアーカイブ元の場所に関する追加情報がプレビューペインの上に表示されます。

4

[OK]をクリックします。

# リサーチフォルダを使った作業

この章では以下の項目について説明しています。

- [リサーチフォルダについて](#)
- [リサーチフォルダの作成](#)
- [リサーチフォルダのプロパティの編集](#)
- [アイテムのリサーチフォルダへのコピー](#)
- [リサーチフォルダのアイテムのレビュー](#)
- [リサーチフォルダからのアイテムのエクスポート](#)
- [リサーチフォルダへのアクセス権の付与](#)
- [部門レビューセットへのリサーチフォルダ内アイテムのコミット](#)
- [リサーチフォルダからのアイテムの削除](#)
- [フォルダの削除](#)

## リサーチフォルダについて

1 つ以上のリサーチフォルダを作成すると、他のレビューアに追加の作業をさせることなく、対象となるアイテムのみを作業できます。たとえば、インサイダー取引の疑いのある事実を追跡しているとします。大量の検索結果を他のレビューアが参照できるレビューセットに追加せずに、リサーチフォルダから検索を実行し、その結果をリサーチフォルダに格納できます。そして、通常の方法でアイテムをレビューしてマーク付けしたり、オフラインでレビューするためにそのアイテムをエクスポートしたりすることができます。

最終的にアイテムのレビューを完了したら、他のレビューアが参照できるように部門レビューセットにアイテムをコミットできます。

必要に応じて、他のユーザーと一緒にレビューを行えるように、他のユーザーに自分のリサーチフォルダへのアクセス権を付与することもできます。ユーザーに付与された権限によって、フォルダからアイテムをエクスポートできるかどうか、アイテムを検索して追加できるかどうか、アイテムをレビューしてマーク付けできるかどうかが決まります。

## リサーチフォルダの作成

Compliance Accelerator ではフォルダを作成するためのいくつかの方法を提供しています。次に説明する方法の他にも、検索基準を定義するとき、検索結果を受け入れるとき、アイテムをレビューするときにも新しいフォルダを作成できます。

リサーチフォルダを作成するには

- 1 Compliance Accelerator クライアントの[リサーチ]タブをクリックします。
- 2 左ペインで、[すべてのリサーチ]をクリックします。
- 3 ウィンドウの先頭で[新規作成]をクリックします。

フォルダのプロパティペインが表示されます。

フォルダ

名前:

フォルダ名

部門

エクスポートの詳細

アイテム ID の桁数:

6

アイテム ID の接頭辞:

例の表示

出力フォルダ:

C:\

保存

キャンセル(C)

- 4 [名前]フィールドで、フォルダ名を入力します。
- 5 [部門]フィールドで、フォルダを関連付けする部門を選択します。この部門でのアドホック検索実行権限が必要です。
- 6 フォルダからエクスポートするアイテムを格納する場所を指定します。
- 7 [保存]をクリックします。

## リサーチフォルダのプロパティの編集

フォルダのプロパティを変更する必要がある場合は、次の手順に従ってプロパティを変更できます。他のユーザーのフォルダの名前を変更する場合は、そのフォルダの所有権が必要です。

### リサーチフォルダのプロパティを編集する方法

- 1 [リサーチ]タブをクリックします。
- 2 左ペインで、編集するフォルダをクリックします。
- 3 [プロパティ]をクリックします。
- 4 必要に応じてフォルダを編集します。
- 5 [保存]をクリックします。

## アイテムのリサーチフォルダへのコピー

アイテムの詳細なリサーチを行うために、レビューセットから個人用フォルダにアイテムをコピーできます。そのアイテムをレビューしてマーク付けし、オフラインでレビューするためにアイテムをエクスポートしたり、コピーされたアイテムに関連するアイテムを検索したりすることができます。

アイテムをレビューセットから自分のフォルダにコピーするには、その部門のアドホック検索実行権限が必要です。デフォルトでは、コンプライアンススーパーバイザ、部門レビューア、例外レビューアにこの権限が割り当てられています。

### アイテムをリサーチフォルダにコピーする方法

- 1 レビューペインで、フォルダにコピーする 1つ以上のアイテムを選択します。

複数の隣接したアイテムを選択するには、最初のアイテムをクリックし、**Shift** キーを押しながら最後のアイテムをクリックします。隣接していないアイテムを選択するには、最初のアイテムをクリックし、**Ctrl** キーを押しながら追加のアイテムをクリックします。すべてのアイテムを選択するには、**Ctrl+A** を押します。
- 2 プレビューペインで[処理]をクリックして、[コピー]をポイントします。
- 3 アイテムをコピーするコピー先フォルダを選択します。

- 4 選択したアイテムのみをコピーするか、レビューセット内のすべてのアイテムをコピーするかを選択します。
- 5 [コピー]をクリックします。

## リサーチフォルダのアイテムのレビュー

フォルダ内のアイテムは、レビューセット内のアイテムをレビューする方法とまったく同じ方法でレビューできます。

いずれのケースも、アイテムにレビューマークとコメントを適用し、さらに評価するためにそのアイテムをエスカレーションレビューアにエスカレーションさせることができます。ただし、フォルダ内のアイテムを評価済みとしてマーク付けすることはできません。

---

**メモ:** フォルダからエスカレーションするすべてのアイテムは、関連付けられている部署のレビューセットに自動的にコミットされます (アイテムがそこに存在していない場合)。

---

フォルダのアイテムをレビューするには、そのフォルダのレビュー権限が必要です。デフォルトでは、フォルダフルコントロールロールまたはフォルダレビューロールを持つユーザーにこの権限が割り当てられます。

### リサーチフォルダのアイテムをレビューする方法

- 1 Compliance Accelerator クライアントの[リサーチ]タブをクリックします。
- 2 左ペインで、レビューするアイテムのフォルダをクリックします。
- 3 [プロパティ]タブをクリックします。
- 4 [レビューに移動]をクリックします。
- 5 レビューペインで、通常の方法でアイテムをレビューします。

p.26 の「[レビューペインについて](#)」を参照してください。

## リサーチフォルダからのアイテムのエクスポート

アイテムをオフラインでレビューしたり、第三者に証拠として提示する場合は、アイテムをエクスポートする必要があります。アイテムは PST、Domino NSF データベース、HTML、MSG、ZIP などのいくつかの形式でエクスポートできます。HTML 形式でエクスポートすると、各アイテムのレビューマーク情報もエクスポートされます。

アイテムは、エクスポートしても状態が変わらないため、エクスポート後も処理を続けることができます。

フォルダからアイテムをエクスポートするには、そのフォルダのメッセージエクスポート権限が必要です。デフォルトでは、フォルダフルコントロールロールまたはフォルダエクスポートロールを持つユーザーにこの権限が割り当てられます。

リサーチフォルダからアイテムをエクスポートするには

- 1 **Compliance Accelerator** クライアントの[リサーチ]タブをクリックします。
- 2 左ペインで、一部のアイテムをエクスポートするフォルダをクリックします。
- 3 [エクスポート]タブをクリックします。
- 4 [新規作成]をクリックします。
- 5 実行に必要な詳細情報とフィルタ情報を入力します。

---

**メモ:** エスカレーションしたアイテムをエクスポート用に選択するためにフィルタを使うことはできません。エスカレーションしたアイテムは関連付けられている部署のレビューセットにコピーされます (アイテムがそこに存在していない場合)。ただし、この処理によって、リサーチフォルダの元のバージョンにエスカレーション済みのマークは付けられません。

---

**Compliance Accelerator** は、クライアントを実行するコンピュータのフォルダではなく、**Compliance Accelerator** サーバーのフォルダにアイテムをエクスポートします。同じ出力フォルダとエクスポート実行名を使って複数回実行すると、**Compliance Accelerator** は実行するたびにレポート概略を上書きします。そのため、実行するごとに異なる名前を設定することを推奨します。

出力フォルダパスには最大 100 文字まで入力できます。

- 6 [適用]をクリックします。
- 7 特定の数のアイテムをエクスポートするために[OK]をクリックします。
- 8 処理が終了するのをしばらく待ってから、**Compliance Accelerator** サーバーの出力フォルダを参照し、エクスポートされたアイテムを取り込みます。

## リサーチフォルダへのアクセス権の付与

他のユーザーにロールを割り当てることによって、他のユーザーに自分のフォルダへのアクセス権を付与できます。たとえば、フォルダのアイテムのレビューとマーク付けを行うユーザーは、そのフォルダのレビューロールを持っている必要があります。他のロールでは、フォルダからアイテムをエクスポートすることと、新しいアイテムを検索してフォルダに追加することができます。フルコントロールロールでは、これらのすべての権限が 1 つのロールに統合されます。

他のユーザーに自分のフォルダへのアクセス権を付与するには、そのフォルダのロールの割り当て権限が必要です。デフォルトでは、フォルダフルコントロールロールを持つユーザーにこの権限が割り当てられます。

### リサーチフォルダへのアクセス権を他のユーザーに付与する方法

- 1 Compliance Accelerator クライアントの[リサーチ]タブをクリックします。
- 2 左ペインで、アクセス権を付与するフォルダをクリックします。
- 3 [ロールの割り当て]タブをクリックします。
- 4 ロールを割り当てるユーザーの名前をクリックします。  
ユーザーがリストに表示されなければ、ペインの先頭で[追加]をクリックし、次にそれに追加するユーザーを選択します。
- 5 右ペインで次のいずれかの操作をします。
  - 新しいロールを割り当てるために[追加]をクリックします。
  - 選択したロールを削除するために[削除]をクリックします。
- 6 [保存]をクリックします。

## 部門レビューセットへのリサーチフォルダ内アイテムのコミット

リサーチフォルダでアイテムの作業を終えると、すべての部門レビューアが参照できるように、そのアイテムを部門レビューセットにコミットできます。Compliance Accelerator では、アイテム本体のほかに、アイテムに適用したすべてのレビューマーク、評価マーク、コメントがコミットされます。実際は、何らかの方法でマーク付けされたアイテムのみがコミットできます。[未レビュー]状態のアイテムはコミットできません。

コミットするアイテムの種類に応じて、評価済みフォルダメッセージコミット権限またはレビュー済みフォルダメッセージコミット権限が必要です。デフォルトでは、フルコントロールロールまたはメッセージコミットロールを持つユーザーにこの権限が割り当てられます。

### 部門レビューセットにリサーチフォルダ内のアイテムをコミットする方法

- 1 Compliance Accelerator クライアントの[リサーチ]タブをクリックします。
- 2 左ペインで、コミットするアイテムのフォルダをクリックします。
- 3 [プロパティ]タブをクリックします。
- 4 [レビューに移動]をクリックします。
- 5 レビューペインで、コミットする 1 つ以上のアイテムを選択します。  
隣接した複数のアイテムを選択するには、Shift キーを押しながら範囲内の最初と最後のアイテムをクリックします。隣接していない複数のアイテムを選択するには、Ctrl キーを押しながら目的のアイテムをクリックします。
- 6 プレビューペインの下で[フォルダから部門にアイテムをコミットします]ボタンをクリックします。

- 7 アイテムのほかに、アイテムに適用されたすべてのレビューマーク、評価マーク、コメントをコミットするかどうか選択します。  
  
また、選択アイテムのみをコミットするか部門のすべてのアイテムをコミットするか、部門レビューセットにアイテムをコミットした後、フォルダからそれらを削除するかどうかを選択できます。
- 8 [コミット]をクリックします。

## リサーチフォルダからのアイテムの削除

アイテムが不要になった場合、そのアイテムをリサーチフォルダから削除できます。

アイテムにレビューマークやコメントを適用している場合、**Compliance Accelerator** では、アイテムを削除する前にそのアイテムを部門レビューセットにコミットするオプションが表示されます。

### リサーチフォルダからアイテムを削除する方法

- 1 **Compliance Accelerator** クライアントの[リサーチ]タブをクリックします。
- 2 左ペインで、削除するアイテムがあるフォルダをクリックします。
- 3 [プロパティ]タブをクリックします。
- 4 [レビューに移動]をクリックします。
- 5 レビューペインで、削除する 1 つ以上のアイテムを選択します。  
  
隣接した複数のアイテムを選択するには、**Shift** キーを押しながら範囲内の最初と最後のアイテムをクリックします。隣接していない複数のアイテムを選択するには、**Ctrl** キーを押しながら目的のアイテムをクリックします。
- 6 プレビューペインの下にある[削除]ボタンをクリックします。
- 7 選択したアイテムのみを削除するか、フォルダ内のすべてのアイテムを削除するかを選択します。  
  
また、アイテムを削除する前に、部門レビューセットにレビューマーク、評価マーク、コメントをコミットするかどうかを選択できます。
- 8 [削除]をクリックします。

## フォルダの削除

フォルダが不要になった場合、そのフォルダを削除できます。

フォルダを削除するには、フォルダ削除権限が必要です。



### フォルダを削除する方法

- 1 Compliance Accelerator クライアントの[リサーチ]タブをクリックします。
- 2 左ペインで、[すべてのリサーチ]をクリックします。
- 3 削除する 1 つ以上のフォルダを選択します。

複数の隣接したフォルダを選択するには、最初のフォルダをクリックし、**Shift** キーを押しながら最後のフォルダをクリックします。隣接していないフォルダを選択するには、最初のフォルダをクリックし、**Ctrl** キーを押しながら追加のフォルダをクリックします。すべてのフォルダを選択するには、**Ctrl+A** を押します。

- 4 [削除]をクリックします。
- 5 続行する場合は、[フォルダの削除]をクリックします。

# アイテムのエクスポート

この章では以下の項目について説明しています。

- アイテムのエクスポートについて
- エクスポート実行
- 同時エクスポート実行数の制限について
- 例外従業員のレビューセットからのアイテムのエクスポート
- エクスポート ID を [Microsoft Outlook](#) で表示

## アイテムのエクスポートについて

アイテムをオフラインでレビューしたり、第三者に証拠として提示する場合は、アイテムを **Compliance Accelerator** からエクスポートする必要があります。**Compliance Accelerator** は内容のエクスポート用に多数のファイル形式をサポートしています。すべての内容を、元の形式で、または内容から作成される **HTML** としてエクスポートできます。

## 特定の種類のコンテンツのエクスポートの制限事項

特定の種類のコンテンツを **HTML** 形式でエクスポートする際には、次の制限事項に注意します。

- 電子メールメッセージに埋め込まれたイメージは、これらのメッセージの **HTML** エクスポートでは正しく表示されない場合があります。最適な結果を得るために、埋め込みイメージが含まれるメッセージを元の形式でエクスポートするか、単一の個人用フォルダ ( .pst ) ファイルにカプセル化することをお勧めします。
- **Skype for Business** の通信には、ユーザーが会議中に共有するホワイトボードと投票を含めることができます。この会議の 2 つの機能のコンテンツは、**Enterprise Vault** がインデックスを作成できない **Microsoft** 社独自の **XML** フォーマットで保存されます。その結果、**Compliance Accelerator** レビューセットからホワイトボードの **HTML**

レンダリングをエクスポートすると、その内容は空白になります。同様に、投票のHTMLエクスポートにも、投票の質問に対する回答は含まれませんが、質問自体は含まれます。

## エクスポート実行

アイテムをオフラインでレビューしたり、第三者に証拠として提示する場合は、アイテムを **Compliance Accelerator** からエクスポートする必要があります。出力形式は **PST**、**Domino NSF** データベース、**HTML**、**MSG**、**ZIP** などの複数の形式から選択できます。アイテム自身およびその処理状態の履歴の両方をエクスポートする場合は **HTML** にエクスポートします。この履歴は、アイテムのプレビューまたは印刷可能バージョンを表示したレビューア、アイテムの元のバージョンをダウンロードしたレビューア、マーク付けしたレビューア、およびレビューアがそれらを行った日時を識別します。

選択アイテムをエクスポートすることに加えて、**Compliance Accelerator** はまた **HTML** 形式、平文形式と **XML** 形式のレポートを出力します。3 つのすべてのレポートには、エクスポートしたアイテムが一覧表示されます。さらに、**HTML** レポートではそれらのアイテムへのハイパーリンクが提供されます。

部門からアイテムをエクスポートするには、メッセージエクスポート権限が必要です。デフォルトでは、部門内のすべてのレビューアとスーパーバイザにこの権限が割り当てられています。ただし、エスカレーションアイテムをエクスポートするオプションは、エスカレーションメッセージエクスポート権限を持つユーザーのみが利用可能です。デフォルトでは、エスカレーションレビューアロールを持つユーザーにこの権限が割り当てられます。

### エクスポートを実行する方法

- 1 **Compliance Accelerator** クライアントの[部門]タブをクリックします。
- 2 左ペインで、アイテムをエクスポートする部門をクリックします。

**Compliance Accelerator** によって大量の部門が一覧表示される場合は、ペインの上部のフィールドを使って一覧をフィルタ処理できます。部門を名前でフィルタ処理するだけでなく、それらと関連付けられるリサーチフォルダを一覧表示するかどうかを選択できます。

- 3 [エクスポート]タブをクリックします。
- 4 ウィンドウの先頭で[新規作成]をクリックします。  
[エクスポートの詳細]ペインが表示されます。

エクスポートの詳細

名前:

出力フォルダ:

アイテムの選択

アイテム ID:

メッセージの種類:

☒ Microsoft Exchange
☐ インスタントメッセージ
☐ SMTP
☐ Domino
☐ Bloomberg
☐ 未指定/v.6 より前のアイテム
☐ ファイルシステム
☐ FAX
☐ SharePoint
☐ IMAP (インターネットメール)
☐ ソーシャル

メッセージの方向:

すべて

キャプチャ方法:

すべて

ポリシーの処理:

☒ 含める
☒ 除外する
☒ 処理なし
☒ 指定しない

キャプチャ日:

すべて

検索:

すべて

現在の処理状態:

すべて

現在の処理状態作成者:

すべて

エスケーション状態:

すべて

エスケーションメッセージ所有者:

すべて

エスケーション実行者:

すべて

現在の評価状態:

すべて

現在の評価状態所有者:

すべて

ポリシー:

すべて

適用

キャンセル

- 5 [名前]フィールドで、実行の名前を入力します。

ここに指定する名前は **Compliance Accelerator** が実行からの出力を格納するサブフォルダの名前になります。

- 6 [出力フォルダ]フィールドで、実行からの出力を格納する **Compliance Accelerator** サーバーのフォルダへのパスを入力します。

フォルダパスには最大 100 文字まで入力できます。

**Compliance Accelerator** は、指名したフォルダのサブフォルダの実行からの出力を保存します。

- 7 [アイテムの選択]フィールドで、エクスポートするアイテムを選択します。

オプションは次のとおりです。

アイテム ID                      エクスポートする各アイテムの ID を指定します。アイテムの ID を指定するには、レビューペインのアイテムを表示します。

メッセージの種類              **Microsoft Exchange** または **Domino** のような種類によってアイテムを選択します。

メッセージの方向	特定の方向に送受信されているアイテムを選択します。
キャプチャ方法	キャプチャされ、監視ポリシーによりレビューセットに追加されたアイテム([ランダムサンプリング])または検索結果としてキャプチャされたアイテム([検索])を選択します。
ポリシーの処理	<p>ポリシー管理ソフトウェアがタグ付けに使ったポリシーの処理によってアイテムを選択します。</p> <p>この処理は次のいずれかです。[含める](キャプチャを要求または提案する)、[除外](キャプチャを除外するか、キャプチャしないことを推進する)、[処理なし](アイテムは通常のランダムサンプリングの対象である)。</p>
キャプチャ日	指定した期間に <b>Compliance Accelerator</b> がキャプチャしたアイテムを選択します。
検索	特定の検索によりキャプチャされたアイテムを選択します。
現在の処理状態	アイテムの処理状態([未レビュー]、[保留]、[問題あり]など)を基準にアイテムを選択します。
現在の処理状態作成者	アイテムに最後にレビューマークを割り当てたユーザーを基準にアイテムを選択します。
エスカレーション状態	アイテムがエスカレーションレビュー宛てにエスカレーションされたかどうか、その後レビューによってクローズされたかどうかを基準にアイテムを選択します。
エスカレーションメッセージ所有者	アイテムを担当するエスカレーションレビュー宛を基準にアイテムを選択します。
エスカレーション実行者	アイテムをエスカレーションレビュー宛てにエスカレーションしたユーザーを基準にアイテムを選択します。
現在の評価状態	スーパーバイザによる評価が行われたかどうかを基準にアイテムを選択します。このオプションは、評価状態適用権限を持つスーパーバイザに対してのみ表示されます。
現在の評価状態作成者	アイテムに最後にマークを割り当てたスーパーバイザを基準にアイテムを選択します。このオプションは、評価状態適用権限を持つスーパーバイザに対してのみ表示されます。
ポリシー	ポリシー管理ソフトウェアがタグ付けに使った特定のポリシーによってアイテムを選択します。

## 8 Exchange または SMTP ジャーナルアイテムのジャーナルエンベロープ (P1) の受信者情報をエクスポートレポートに含める場合は、[ジャーナル受信者をレポートに

含める]を選択します。これには、受信者が[宛先]、[CC]、[BCC]のいずれのフィールドで指定されているかに関係なく、各アイテムのすべての受信者がリストされます。

**Compliance Accelerator** では、**Domino** ジャーナルアイテムの受信者情報は含まれません。

- 9 アイテムを元の形式でエクスポートするか、HTML としてエクスポートするか、ZIP ファイルで収集するかを選択します。
  - [元の種類]をクリックすると **Microsoft Exchange** アイテムは個別の MSG ファイルとして出力し、**SMTP** アイテムは個別の EML ファイルとして出力するか、または個人用の単一フォルダの(.pst)ファイルにすべてカプセル化できます。  
[PST]をクリックすると、**Compliance Accelerator** にファイルのパスワードと最大ロールオーバーサイズを設定できる追加オプションが複数表示されます。パスワードは英数字のみを含むことができます。各 PST ファイルのデフォルトサイズは 600 MB です。20 GB を超えることはできません。
  - [HTML]をクリックすると、**Compliance Accelerator** にコメントや処理状態の履歴を含めることを選択できる追加オプションが複数表示されます。この履歴は、各アイテムのプレビューまたは印刷可能バージョンを表示したレビューア、アイテムの元のバージョンをダウンロードしたレビューア、マーク付けしたレビューア、およびレビューアがそれらを行った日時を識別します。
  - [Zip]をクリックすると、各 ZIP ファイルの最大ロールオーバーサイズを設定できます。デフォルトは 1024 MB (1 GB)です。  
ZIP ファイルにすべての種類のアイテムをエクスポートできます。ただし、**Domino** アイテムをエクスポートする場合は最初に **Compliance Accelerator** でアイテムを **Domino NSF** データベースに収集してから ZIP ファイルに追加します。
- 10 [エクスポートするアイテムの数]フィールドでは、必要なアイテムの数を入力します。**Compliance Accelerator** が最も古いアイテムをエクスポートすることに注意してください。たとえば、100 のアイテムをエクスポートすることを選択した場合、**Compliance Accelerator** は選択したオプションと一致する 100 の最も古いアイテムをエクスポートします。
- 11 ファイルシステムアイテムまたは **Domino** アイテムをエクスポートするときに、変更または誤って削除できないようにそれらのアイテムを読み取り専用にする場合は、[読み取り専用]を選択します。
- 12 [適用]をクリックします。
- 13 エクスポートが終了したら、**Compliance Accelerator** サーバーの出力フォルダを開いて、エクスポートされたアイテムを取り込みます。また、このフォルダはエクスポートしたアイテムをリストするレポートを含んでいます。

## 同時エクスポート実行数の制限について

デフォルトでは、4 つまでの実行を同時に行うことができます。追加の実行を行おうとした場合、**Compliance Accelerator** はアクティブな実行のいくつかを完了するまでキューにそれらを保持します。それからそれらを開始した順序で追加の実行を行います。実行の最大数がすでに進行中の間、優先度が高い実行を行う必要があれば、開始できるように **Compliance Accelerator** の管理者にそれらの実行の 1 つを停止するように頼むことができます。

**Compliance Accelerator** 管理者は次の[エクスポート/提出物生成]設定オプションを設定することによって行うことが可能である同時実行の最大数を変更できます。

- 提出物生成実行ごとの提出物生成スレッドの数
- カスタマーごとの提出物生成スレッドの総数

これらの設定オプションにアクセスするには、**Compliance Accelerator** クライアントの[設定]タブをクリックし、次に[設定値]タブをクリックします。行うことができる同時実行の最大数は[カスタマーごとの提出物生成スレッドの総数]を[提出物生成実行ごとの低提出物生成スレッドの数]で割ったものです。

## 例外従業員のレビューセットからのアイテムのエクスポート

例外従業員のレビューセットからアイテムをエクスポートする手順は、標準的なエクスポート手順とは少し異なります。

例外従業員のレビューセットからアイテムをエクスポートするには

- 1 **Compliance Accelerator** クライアントの[部門]タブをクリックします。
- 2 左の[部門]のペインで、フィルタのオプション[例外の表示]を選択します。
- 3 エクスポートするアイテムがある例外従業員の名前をクリックします。
- 4 [エクスポート]タブをクリックします。
- 5 通常の方法で新しいエクスポート実行を作成します。
- 6 エクスポートが終了したら、出力フォルダを参照し、エクスポートされたアイテムを取り込みます。

## エクスポート ID を Microsoft Outlook で表示

エクスポートされた個人用フォルダ (.pst) ファイルを **Microsoft Outlook** で表示する場合に、**Compliance Accelerator** が各アイテムに割り当てたエクスポート ID が表示される

と便利な場合があります。Outlook の表示にカスタムの列を追加すると、この ID を表示できます。

#### エクスポート ID を Microsoft Outlook で表示する方法

- 1 Outlook でエクスポートされた .pst ファイルを開きます。
- 2 Outlook の列見出しを右クリックし、[フィールドの選択]をクリックします。
- 3 [新規作成]をクリックします。
- 4 [新しいフィールド]ダイアログボックスの[名前]フィールドに「通し番号」を入力して、[OK]をクリックします。
- 5 [フィールドの選択]ダイアログボックスを閉じます。
- 6 Outlook の列見出しを右クリックし、[現在のビューの編集]をクリックします。
- 7 [フィールド]をクリックして、[対象となるフィールドグループ]の一覧を選択し、[ユーザー定義フィールド]を選択します。
- 8 表示されたフィールドの一覧に通し番号を追加し、[OK]を 2 回クリックしてダイアログボックスを閉じます。



# レポートの作成と表示

この章では以下の項目について説明しています。

- [Compliance Accelerator レポートについて](#)
- [Compliance Accelerator レポートの作成](#)
- [利用可能な Compliance Accelerator のレポート](#)
- [既存のレポートの表示](#)
- [レポートの削除](#)
- [OData Web サービスを使った Compliance Accelerator データセットの表示について](#)

## Compliance Accelerator レポートについて

Compliance Accelerator では、Compliance Accelerator ユーザーのロールと担当、レビューアとスーパーバイザの進捗状況に関する広範なレポート機能が提供されます。

レポートを印刷するほかに、XML、カンマ区切り値 (CSV)、Acrobat (PDF)、Web アーカイブ (MHTML)、Excel、TIFF を含む多数の形式でレポートをエクスポートできます。

## Compliance Accelerator レポートの作成

新しいレポートを生成するには、レポート表示権限が必要です。デフォルトで、部門ロールのほとんどのユーザーにこの権限があります。

### Compliance Accelerator レポートを作成する方法

- 1 Compliance Accelerator クライアントの[レポート]タブをクリックします。
- 2 ウィンドウの左上で[新規作成]をクリックします。

- 3 [種類]フィールドで、作成するレポートの種類を選択します。  
p.58 の「[利用可能な Compliance Accelerator のレポート](#)」を参照してください。  
場合によっては、レポートの種類を選択すると、追加のフィールドが表示され、レポートの範囲を定義できます。
- 4 [名前]フィールドで、50 文字までを含む重複しない名前を入力します。
- 5 必要であれば、250 文字までを含む省略可能な説明を入力します。
- 6 残りのレポートのパラメータを設定し、[適用]をクリックします。
- 7 **Compliance Accelerator** がレポートを生成したら、それを表示するために左ペインのレポート名をダブルクリックします。

## 利用可能な **Compliance Accelerator** のレポート

表 6-1 では、**Compliance Accelerator** に用意されているレポートについて説明します。

表 6-1 利用可能な **Compliance Accelerator** のレポート

レポート名	表示内容
[コンプライアンススーパーバイザの担当]レポート	各コンプライアンススーパーバイザが担当する部門。レポートには、これらの各部門のレビューも一覧表示されます。  p.60 の「 <a href="#">[コンプライアンススーパーバイザの担当]レポート</a> 」を参照してください。
[部門ロールの詳細]レポート	選択した各部門に対するレビュー設定とロールの割り当てに関する情報。  p.60 の「 <a href="#">[部門ロールの詳細]レポート</a> 」を参照してください。
[部門ロールの概略]レポート	選択した各部門に対するレビュー設定の概略。  p.61 の「 <a href="#">[部門ロールの概略]レポート</a> 」を参照してください。
[部門ごとの差分サンプリングの概略]レポート	選択したサンプリング期間における、選択した部門の監視対象従業員のサンプリングアクティビティに関する情報。  p.62 の「 <a href="#">[部門ごとの差分サンプリングの概略]レポート</a> 」を参照してください。
[ユーザーごとの実効ロール]レポート	選択したユーザーにロールが割り当てられているすべての部門および割り当てられているロール。  p.63 の「 <a href="#">[ユーザーごとの実効ロール]レポート</a> 」を参照してください。

レポート名	表示内容
[部門/従業員ごとのレビューの証拠]レポート	<p>選択した部門または従業員について、必要な数と割合のランダムにサンプリングされたアイテムがキャプチャされ、レビューされたという証拠。</p> <p>p.63 の「<a href="#">[部門/従業員ごとの message type レビューの証拠]レポート</a>」を参照してください。</p>
[部門ごとのアイテムの経過時間]レポート	<p>選択した部門について、未レビューまたはレビュー保留のいずれかであるアイテムの数。</p> <p>p.64 の「<a href="#">[部門ごとのアイテムの経過時間]レポート</a>」を参照してください。</p>
[メッセージの統計の概略]レポート	<p>選択した各部門および例外従業員について、サンプリングされたアイテムの合計数とアイテムの種類ごとの詳細。</p> <p>p.64 の「<a href="#">[メッセージの統計の概略]レポート</a>」を参照してください。</p>
[メッセージの概略]レポート	<p>各部門でレビュー用に <b>Compliance Accelerator</b> でキャプチャしたアイテムの数と、種類ごとの詳細。</p> <p>p.65 の「<a href="#">[メッセージの概略]レポート</a>」を参照してください。</p>
[部門ごとの監視対象 ID]レポート	<p>各監視対象従業員について、レビューのためにキャプチャされたアイテムの数。</p> <p>p.65 の「<a href="#">[部門ごとの監視対象 ID]レポート</a>」を参照してください。</p>
[部門ごとの問題があるアイテム]レポート	<p>各部門について、問題があるアイテム (レビューアが[問題あり]とマーク付けしたアイテム) の概略。</p> <p>p.66 の「<a href="#">[部門ごとの問題があるアイテム]レポート</a>」を参照してください。</p>
[部門ごとの担当]レポート	<p>各部門について、所有者、監視対象従業員、部門レビューア、エスカレーションレビューア、コンプライアンススーパーバイザ。</p> <p>p.66 の「<a href="#">[部門ごとの担当]レポート</a>」を参照してください。</p>
[レビューアごとの担当]レポート	<p>各レビューアについて、そのレビューアがアイテムをレビューする部門、およびその部門の他のレビューア。</p> <p>p.67 の「<a href="#">[レビューアごとの担当]レポート</a>」を参照してください。</p>
[部門ごとのレビューアクティビティの概略]レポート	<p>選択したレポート期間に <b>Compliance Accelerator</b> がキャプチャした各種別のアイテムの合計数。</p> <p>p.67 の「<a href="#">[部門ごとのレビューアクティビティの概略]レポート</a>」を参照してください。</p>

レポート名	表示内容
[部門ごとのレビューアのアクティビティ]レポート	各部門について、エスカレーション済み、問題あり、レビュー済み、未レビューのアイテム数など、レビューセットのアイテムの状態。  p.68 の「 <a href="#">[部門ごとのレビューアのアクティビティ]レポート</a> 」を参照してください。
[レビューアのアクティビティの詳細]レポート	各部門について、各レビューアのレビューセットのアイテムの状態。  p.68 の「 <a href="#">[レビューアのアクティビティの詳細]レポート</a> 」を参照してください。
[レビューアのマップ]レポート	レビューアがレビューを行う各部門のレビューの必要条件および監視対象従業員。  p.69 の「 <a href="#">[レビューアのマップ]レポート</a> 」を参照してください。
[未レビューの部門]レポート	部門レビューアが割り当てられていない部門。  p.70 の「 <a href="#">[未レビューの部門]レポート</a> 」を参照してください。
[未管理の部門]レポート	コンプライアンススーパーバイザが割り当てられていない部門。  p.70 の「 <a href="#">[未管理の部門]レポート</a> 」を参照してください。

## [コンプライアンススーパーバイザの担当]レポート

[コンプライアンススーパーバイザの担当]レポートには、各コンプライアンススーパーバイザが担当する部門が一覧表示されます。レポートには、これらの各部門のレビューアも一覧表示されます。

このレポートは、選択した各コンプライアンススーパーバイザに次の情報を提供します。

**表 6-2** [コンプライアンススーパーバイザの担当]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
部門	ユーザーがコンプライアンススーパーバイザである部門。
レビューア	各部門のレビューア。
この代理として	必要に応じて、各レビューアが代行となる主レビューア。

## [部門ロールの詳細]レポート

選択した各部門について、[部門ロールの詳細]レポートはレビュー設定とロールの割り当てに関する情報を提供します。

このレポートは、選択した各部門について次の情報を提供します。

**表 6-3** [部門ロールの詳細]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
部門の設定	
メッセージの種類	Compliance Accelerator が部門レビューセットに追加することがあるアイテムの種類。Exchange、Fax、Domino、SMTP の場合は、レポートには 3 つのアイテムの種類が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"><li>■ 内部: 作成者とすべての受信者が組織内部の人間であるアイテム。</li><li>■ 外部インバウンド: 作成者が組織外部の人間で、受信者のうち少なくとも 1 人が組織内部の人間であるアイテム。</li><li>■ 外部アウトバウンド: 作成者が組織内部の人間で、受信者のうち少なくとも 1 人が組織外部の人間であるアイテム。</li></ul>
レビューの必要条件	キャプチャされ、レビューセットに追加される各従業員のアイテムの割合。
メッセージの上限	キャプチャしてレビューセットに追加する各従業員のアイテム数に制限を設定したかどうか。
すべてのメッセージの種類について	部門内のすべての従業員の監視を有効にしているか、無効にしているか (監視)、レビューセットの合計アイテム数に制限を設定しているかどうか (上限設定)、およびレビューセットのアイテム数を制限している場合はその制限値 ([メッセージの総数の上限])。
この部門のロールが割り当てられているユーザー/グループ	
ユーザー/グループ	部門のロールを担当するユーザーまたはグループ。
ロール	ユーザーまたはグループが担当するロール。
ロールの割り当ての詳細	ユーザーがロールをどのように取得したか。明示的な割り当て、親部門からの継承、またはグループのメンバー所属。

## [部門ロールの概略]レポート

選択した各部門について、[部門ロールの概略]レポートはレビュー設定の概略を提供します。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

**表 6-4** [部門ロールの概略]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
メッセージの種類	<p><b>Compliance Accelerator</b> が部門レビューセットに追加することがあるアイテムの種類。Exchange、Fax、Domino、SMTP の場合は、レポートには 3 つのアイテムの種類が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内部: 作成者とすべての受信者が組織内部の人間であるアイテム。</li> <li>■ 外部インバウンド: 作成者が組織外部の人間で、受信者のうち少なくとも 1 人が組織内部の人間であるアイテム。</li> <li>■ 外部アウトバウンド: 作成者が組織内部の人間で、受信者のうち少なくとも 1 人が組織外部の人間であるアイテム。</li> </ul>
レビューの必要条件	キャプチャされ、レビューセットに追加される各従業員のアイテムの割合。
メッセージの上限	キャプチャしてレビューセットに追加する各従業員のアイテム数に制限を設定したかどうか。
すべてのメッセージの種類について	部門内のすべての従業員の監視を有効にしているか、無効にしているか (監視)、レビューセットの合計アイテム数に制限を設定しているかどうか (上限設定)、およびレビューセットのアイテム数を制限している場合はその制限値 ([メッセージの総数の上限])。

## [部門ごとの差分サンプリングの概略]レポート

選択したサンプリング期間について、[部門ごとの差分サンプリングの概略]レポートは、選択した部門の監視対象従業員のサンプリングアクティビティの概略を示します。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

**表 6-5** [部門ごとの差分サンプリングの概略]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
監視対象従業員	監視対象従業員の名前。
メッセージの総数	監視対象従業員が送受信したアイテムの合計数。
ポリシーサンプリング	ポリシー管理ソフトウェアが「含める」にタグ付けしたレビューセット内のアイテムの数と割合。
検索サンプリング	保証されたサンプル検索がサンプリングしたアイテムの数と割合。
ランダムサンプリング	<b>Compliance Accelerator</b> がランダムにサンプリングしたアイテムの数と割合。

フィールド	表示内容
サンプリングの合計	サンプリングされたアイテムの合計数と割合。

## [ユーザーごとの実効ロール]レポート

[ユーザーごとの実効ロール]レポートは、選択したユーザーにロールが割り当てられているすべての部門および割り当てられているロールの一覧を示します。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

表 6-6 [ユーザーごとの実効ロール]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
部門	ユーザーがロールを割り当てられている部門の名前。
ロール	ユーザーが担当する部門のロール。
詳細	ユーザーがロールをどのように取得したか。明示的な割り当て、親部門からの継承、またはグループのメンバー所属。

## [部門/従業員ごとの message type レビューの証拠]レポート

選択した部門または従業員について、[レビューの証拠]レポートは、必要な数と割合の選択された種類のアイテムがキャプチャされ、レビューされたという証拠を提供します。これらのレポートはランダムにサンプリングされたアイテムのみを含んでいます。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

表 6-7 [部門/従業員ごとのレビューの証拠]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
監視対象従業員	監視対象従業員の名前。
メッセージの総数	監視対象従業員が送受信した、指定した種類のアイテムの合計数。
キャプチャ済み	<b>Compliance Accelerator</b> で収集された従業員のアイテムの数と割合。
未レビュー	未レビューアイテムの数。
保留	保留中の状態であるアイテムの数。
問題あり	問題ありの状態であるアイテムの数。
レビュー済み	レビュー済みの状態であるアイテムの数。

フィールド	表示内容
レビュー割合	レビュー済みのアイテムの割合。

## [部門ごとのアイテムの経過時間]レポート

選択した部門について、[部門ごとのアイテムの経過時間]レポートは、未レビューまたはレビュー保留のいずれかであるアイテムの数を示します。このレポートは、各アイテムが最初にキャプチャされてからレビューを待機した期間も示します。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

**表 6-8** [アイテムの経過時間]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
合計 - 部門名	未レビューまたはレビュー保留のいずれかであるアイテムを含んでいる部門の名前。
キャプチャ経過時間の範囲内にあるメッセージの数	30 日間の各期間について、最初にキャプチャされたときから未レビューまたはレビュー保留のいずれかであるアイテムの数。合計には、90 日以上未レビューまたはレビュー保留であったアイテムは含まれていません。

## [メッセージの統計の概略]レポート

選択した各部門および例外従業員について、[メッセージの統計の概略]レポートは、サンプリングされたアイテムの合計数とアイテムの種類ごとの詳細を示します。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

**表 6-9** [メッセージの統計の概略]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
部門名	Compliance Accelerator での部門の名前。レビューセットのサンプリングされたアイテムのリストを表示する部門名をクリックします。



フィールド	表示内容
メッセージの種類 (Exchange 内部など)	<p><b>Compliance Accelerator</b> が部門レビューセットに追加することがあるアイテムの種類。Exchange、Fax、Domino、SMTP の場合は、レポートには 3 つのアイテムの種類が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内部: 作成者とすべての受信者が組織内部の人間であるアイテム。</li> <li>■ 外部インバウンド: 作成者が組織外部の人間で、受信者のうち少なくとも 1 人が組織内部の人間であるアイテム。</li> <li>■ 外部アウトバウンド: 作成者が組織内部の人間で、受信者のうち少なくとも 1 人が組織外部の人間であるアイテム。</li> </ul>
サンプリングの合計	すべての種類のサンプリングされたアイテムの合計数。

## [メッセージの概略]レポート

[メッセージの概略]レポートは、各部門でレビュー用に **Compliance Accelerator** でキャプチャしたアイテムの数と、種類ごとの詳細に関する情報を示します。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

表 6-10 [メッセージの概略]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
部門: 部門名	アイテムの数を示す部門の名前。部門名をクリックすると、レビューセット内のアイテムの詳細情報が表示されます。
メッセージの種類/メッセージ	<b>Compliance Accelerator</b> がレビューのためにキャプチャしたアイテムの種類と数。アイテムの種類またはアイテムの数をクリックすると、該当するアイテムの一覧が表示されます。

## [部門ごとの監視対象 ID]レポート

各監視対象従業員について、[部門ごとの監視対象 ID]レポートは、レビューのためにキャプチャされたアイテムの数を示します。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

表 6-11 [監視対象 ID]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
企業 ID	わかっている場合は、従業員の社内 ID。

フィールド	表示内容
合計	<b>Compliance Accelerator</b> がレビューのためにキャプチャした従業員のアイテムの合計数。合計には、ランダムにサンプリングされたアイテム、ポリシーでキャプチャされたアイテム、保証されたサンプル検索でキャプチャされたアイテムが含まれます。
未レビュー	従業員のレビュー待ちのアイテムの数。
レビュー済み	従業員のレビュー済みのアイテムの数。

## [部門ごとの問題があるアイテム]レポート

各部門について、[部門ごとの問題があるアイテム]レポートは、問題があるアイテム (レビューアが[問題あり]とマーク付けしたアイテム) の概略を示します。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

表 6-12 [問題があるアイテム]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
アイテム ID	<b>Compliance Accelerator</b> がアイテムに割り当てた識別番号。
送信日	アイテムが送信された日時。
コメント	<b>Compliance Accelerator</b> レビューアがアイテムに追加した最後のコメント。
送信者	アイテムを送信した人。
受信者	アイテムの受信者。 <b>Compliance Accelerator</b> は、可能であれば受信者すべてをリストしますが、受信者の数が多いときにはリストが切り捨てられる場合があります。

## [部門ごとの担当]レポート

各部門について、[部門ごとの担当]レポートは、所有者、監視対象従業員、部門レビューアなどを一覧表示します。レビューアのいない部門は「(未レビュー)」として表示されます。代行レビューアについては[reviewer\_name の代理として]というタグが表示されます。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

表 6-13 [部門ごとの担当]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
所有者	部門の所有者 (通常、 <b>Compliance Accelerator</b> のメインシステム管理者)。
監視対象従業員	<b>Compliance Accelerator</b> が監視している部門の従業員。
部門レビューア	部門でレビューとアイテムのマーク付けを実行できる <b>Compliance Accelerator</b> ユーザー。
エスカレーションレビューア	部門レビューアがさらに評価するためにアイテムをエスカレーションできる <b>Compliance Accelerator</b> のユーザー。
コンプライアンススーパーバイザ	部門レビューアの作業を評価し、部門の例外従業員を管理できる <b>Compliance Accelerator</b> ユーザー。

## [レビューアごとの担当]レポート

各 **Compliance Accelerator** レビューアについて、[レビューアごとの担当]レポートは、レビューアがアイテムをレビューできる部門、およびその部門の他のレビューアを一覧表示します。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

表 6-14 [レビューアごとの担当]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
部門	ユーザーがレビューアのロールを割り当てられている部門。
追加のレビューア	部門の他のレビューアの名前。
この代理として	必要に応じて、各レビューアが代行として作業している主レビューアまたはスーパーバイザ。

## [部門ごとのレビューアクティビティの概略]レポート

[部門ごとのレビューアクティビティの概略]レポートは、選択したレポート期間に **Compliance Accelerator** がキャプチャした各種類のアイテムの合計数を示します。また、このレポートはこれらのアイテムのレビューの状態も示します。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

**表 6-15** [レビューアクティビティの概略]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
Total	Compliance Accelerator がレポート期間内にキャプチャした、指定された種類のアイテムの合計数。
未レビュー	未レビューアイテムの数。
Reviewed (関連あり)	レビューアが[レビュー済み (関連あり)]のマークを付けたアイテムの数。
Pending	レビューアが[保留]としてマーク付けしたアイテムの数。
Questioned	レビューアが[問題あり]としてマーク付けしたアイテムの数。

## [部門ごとのレビューアのアクティビティ]レポート

各部門について、[部門ごとのレビューアのアクティビティ]レポートは、エスカレーション済み、問題あり、レビュー済み、未レビューのアイテム数など、レビューセットのアイテムの状態を示します。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

**表 6-16** [部門ごとのレビューアのアクティビティ]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
レビュー状態/メッセージ	Compliance Accelerator がレビューのためにキャプチャしたアイテムの状態と数。アイテムの状態またはアイテムの数をクリックすると、該当するアイテムの一覧が表示されます。

## [レビューアのアクティビティの詳細]レポート

各部門について、[レビューアのアクティビティの詳細]レポートは、各レビューアのレビューセットのアイテムの状態を示します。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

**表 6-17** [レビューアのアクティビティの詳細]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
レビューア	レビューアの名前。またはレビュー待ちのアイテムの場合は「レビューアなし」。

フィールド	表示内容
メッセージの状態	マーク付けの状態 ([問題あり]、[関連ありとレビュー済み]、[関連なしとレビュー済み])とエスカレーションの状態 ([エスカレーション済み])。
メッセージ	指定した状態のアイテムの数、およびこのレビューアがマーク付けまたはエスカレーションしたアイテムの合計数。
委任の詳細	必要に応じて、各レビューアが代行として作業している主レビューアまたはスーパーバイザ。
マーク付けアクティビティの合計: 部門名	すべての部門レビューアがマーク付けしたレビューセットのアイテムの合計数。
エスカレーションアクティビティの合計: 部門名	すべての部門レビューアが、さらに評価するために上位の権限を持つレビューアにエスカレーションしたレビューセットのアイテムの合計数。

## [レビューアのマップ]レポート

[レビューアのマップ]レポートは、レビューアがレビューを行う各部門のレビューの必要条件および監視対象従業員を示します。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

**表 6-18** [レビューアのマップ]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
メッセージの種類	<p><b>Compliance Accelerator</b> が部門レビューセットに追加することがあるアイテムの種類。Exchange、Fax、Domino、SMTP の場合は、レポートには 3 つのアイテムの種類が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内部: 作成者とすべての受信者が組織内部の人間であるアイテム。</li> <li>■ 外部インバウンド: 作成者が組織外部の人間で、受信者のうち少なくとも 1 人が組織内部の人間であるアイテム。</li> <li>■ 外部アウトバウンド: 作成者が組織内部の人間で、受信者のうち少なくとも 1 人が組織外部の人間であるアイテム。</li> </ul>
レビューの必要条件	キャプチャされ、レビューセットに追加される各従業員のアイテムの割合。
メッセージの上限	キャプチャしてレビューセットに追加する各従業員のアイテム数に制限を設定したかどうか。

フィールド	表示内容
すべてのメッセージの種類について	部門内のすべての従業員の監視を有効にしているか、無効にしているか (監視)、レビューセットの合計アイテム数に制限を設定しているかどうか (上限設定)、およびレビューセットのアイテム数を制限している場合はその制限値 ([メッセージの総数の上限])。
部門名の監視対象従業員	<p>各監視対象従業員について、キャプチャされ、レビューセットに追加される従業員のアイテムの割合。レポートのこの領域には、次の情報も表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 必要に応じて、従業員に割り当てた例外レビューアの名前。</li> <li>■ 従業員の監視が中断されたかどうか。<b>Compliance Accelerator</b> は、従業員の監視を一時的に停止したとしても、中断された従業員はまだ追加した部署に属していると考えられます。</li> <li>■ 従業員を含む部門に適用している上限から従業員が除外されるかどうか。</li> </ul>

## [未レビューの部門]レポート

[未レビューの部門]レポートは、部門レビューアが割り当てられていない部門を一覧表示します。一覧表示されるのはユーザーがレポート表示権限を持っている部門のみです。

このレポートは次のフィールドを含んでいます。

**表 6-19** [未レビューの部門]レポートのフィールド

フィールド	表示内容
部門名	<b>Compliance Accelerator</b> での部門の名前。レビューセットのサンプリングされたアイテムのリストを表示する部門名をクリックします。
所有者	部門の所有者 (通常、 <b>Compliance Accelerator</b> のメインシステム管理者)。

## [未管理の部門]レポート

[未管理の部門]レポートは、コンプライアンススーパーバイザが割り当てられていない部門を一覧表示します。一覧表示されるのはユーザーがレポート表示権限を持っている部門のみです。

## 既存のレポートの表示

Compliance Accelerator はレポートの内容を表示し、印刷し、Excel、Acrobat (PDF)、XML、カンマ区切り値 (CSV) のような形式でエクスポートすることを容易にします。レポートは、その作成時点におけるデータのスナップショットです。レポートを後で表示してもレポート内のデータは更新されないため、最新のデータを表示する場合は新しいレポートを作成する必要があります。

既存のレポートを表示するには、レポート表示権限が必要です。デフォルトで、部門ロールのほとんどのユーザーにこの権限があります。

### 既存のレポートを表示するには

- 1 Compliance Accelerator クライアントの[レポート]タブをクリックします。
- 2 中央のペインで、表示するレポートをクリックします。Compliance Accelerator は右側にある[詳細]タブで選択したレポートの情報を提供します。  
  
左ペインのオプションを選択することによって、レポートのリストをフィルタ処理できます。代わりに、中央のペインの先頭の[レポートの検索]フィールドで、レポートの名前や説明で検索するキーワードを入力します。
- 3 レポートの内容を表示するために[プレビュー]タブをクリックします。
- 4 次の 1 つ以上の操作をします。
  - レポート内で、特定のページに移動するか、特定の語を見つけるか、または拡大のレベルを調整するには、プレビューペインの先頭でナビゲーションコントロールをクリックします。
  - レポートをエクスポートするには、対象となる形式を選択し、[エクスポート]をクリックします。Compliance Accelerator はレポートファイルのための場所を選択するためにプロンプトを表示します。
  - レポートのコンテンツを更新するには、[更新]をクリックします。
  - レポートを印刷するには、[印刷]をクリックし、次に印刷のオプションを選択します。

## レポートの削除

レポートが不要になった場合、そのレポートを Compliance Accelerator から削除できます。

レポートを削除するには、レポート表示権限が必要です。デフォルトで、部門ロールのほとんどのユーザーにこの権限があります。

---

**注意:** 誤って削除したレポートをリカバリできません。

---

### レポートを削除する方法

- 1 Compliance Accelerator クライアントの[レポート]タブをクリックします。
- 2 左ペインで、削除するレポートをクリックします。
- 3 ウィンドウの左上で[レポートの削除]をクリックします。
- 4 [はい]をクリックして、レポートを削除することを確定します。

## OData Web サービスを使った Compliance Accelerator データセットの表示について

Compliance Accelerator クライアントでレポートを作成したり表示したりするだけでなく、OData (Open Data) Web サービスで Compliance Accelerator の設定情報やカスタマーデータベースを開示できます。必要に応じて、OData と互換性のあるレポートツールでこの情報を使ってレポートを作成できます。このようなレポートツールには Excel/PowerQuery や SSRS (Microsoft SQL Server Reporting Services) などがあります。

この機能について詳しくは、『[Best Practices for Enhanced Accelerator Reporting](#)』のホワイトペーパーを参照してください。

## 利用可能な Compliance Accelerator データセット

表 6-20 には、OData Web サービスを使って表示できる Compliance Accelerator データセットが示されています。

表 6-20 利用可能な Compliance Accelerator データセット

データセット	表示内容
ActionStatusDetail	レビューアが 1 つ以上の部署のアイテムで実行した処理の履歴。
Customers	Compliance Accelerator が部署の詳細、ユーザーサーバーロール、検索結果などを格納する SQL Server データベースに関する情報。
Departments	指定したカスタマーと関連付けられた 1 つ以上の部署の情報。
DifferentialSamplingSummaryByDepartment	選択した部署の監視対象従業員のサンプリングアクティビティ。
EscalationHistory	特定のアイテムのエスカレーション履歴。



データセット	表示内容
GuaranteedSamplingSummary	Enterprise Vault によって Compliance Accelerator に送信済みの保証されたサンプリング統計データに関する情報。
ItemAgingByDepartment	未レビューまたはレビュー保留のいずれかであるアイテムの数。
QuestionedItems ByDepartment	疑わしいアイテム(レビューアが[問題あり]とマーク付けしたアイテム)の概略。
ReviewActivitySummary	選択したレポート期間に Compliance Accelerator がキャプチャした各種別のアイテムの合計数。また、このレポートはこれらのアイテムのレビューの状態も示します。
ReviewerActivity ByDepartment	エスカレーション済み、問題あり、レビュー済み、未レビューのアイテム数など、レビューセットのアイテムの状態。
ReviewerActivityBy DepartmentDetailed	状態、方向、メッセージの種類、作成者などのレビューセットアイテムの詳細。
ReviewerActivityByReviewer	各レビューアのレビューセットアイテムの状態とレビューアに関する情報。
ReviewerActivityDetail	1つ以上の部署における各レビューアのレビューセットアイテムの状態。
ReviewerActivityItemDetailed	レビューセットを操作したレビューアの情報と各メッセージの詳細。
ReviewerNotes	指定した部署のレビューセットのアイテムにレビューアが割り当てたメモの情報。
SamplingSummary	Enterprise Vault によって Compliance Accelerator に送信されたサンプリング統計データに関する情報。
StatisticalSamplingSummary	Enterprise Vault によって Compliance Accelerator に送信された統計サンプリングデータに関する情報。

## Compliance Accelerator データベースへのアクセス

Web ブラウザのアドレスバーに以下のアドレスをタイプするとデータセットにアクセスできます。いずれの場合も、**server\_name** は Compliance Accelerator サーバーソフトウェアをインストールしたサーバーの名前です。

- 利用可能なすべてのデータセットの一覧にアクセスするには、次のようにタイプします。  
`http://server_name/CAReporting/OData`
- 各データセットに含まれるすべてのフィールドと利用可能なすべてのデータセットの一覧にアクセスするには、次のようにタイプします。  
`http://server_name/CAReporting/OData/$metadata`
- 特定のデータセットにアクセスするには、次のようにタイプします。  
`http://server_name/CAReporting/OData/dataset_name`

## Microsoft Excel での OData サービスの使用

以下の指示は Microsoft Excel 2010 と 2013 を対象としています。Microsoft Power Query for Excel アドインがインストールされていることを確認してください。このアドインは Microsoft 社の Web サイトの次のページからダウンロードできます。

<https://www.microsoft.com/download/details.aspx?id=39379>

### Microsoft Excel で OData サービスを使うには

- 1 Microsoft Excel を開きます。
- 2 新しい空白のワークブックを作成します。
- 3 [Power クエリー] タブで、[外部データを入手] グループの [他のソースから] をクリックして、[OData データフィード] をクリックします。
- 4 [OData フィード] ダイアログボックスページの [URL] ボックスで、次のようにデータフィードの Web サイトアドレスを指定します。

`http://server_name/CAReporting/OData/dataset_name(parameter=value)`

次に例を示します。

`http://ca.mycompany.com/CAReporting/OData/ActionStatusDetail  
(customerID=2,departmentID=8,itemID=32)`

---

**メモ:** データセットを表示するために必要な必須パラメータを指定する場合は注意してください。Customers データセットを除いて、すべてのデータセットに必須パラメータがあります。これらについては、各データセットのオンラインヘルプを参照してください。

---

- 5 資格情報を求められたら、入力してログインします。クエリーエディタが開きます。
- 6 クエリーエディタで、データセットで利用できるレコードを表示します。必要に応じてクエリーを編集します。
- 7 [クローズとロード]をクリックして、Excel のデータセット情報を表形式でインポートします。

## Microsoft SQL Server Reporting Services (SSRS)での OData サービスの使用

以下の指示は SSRS (Microsoft SQL Server Reporting Services) を対象としています。

### Microsoft SQL Server Reporting Services (SSRS)で OData サービスを使う方法

- 1 レポートビルダを開きます。
- 2 XML 接続タイプとして新規データソースを追加します。
- 3 [接続文字列]ボックスに、次のようにデータフィードの URL を指定します。  
`http://server_name/CAReporting/OData/dataset_name(parameter=value)?$format=application/atom+xml`

次に例を示します。

`http://ca.mycompany.com/CAReporting/OData/Customers(customerID=1)?$format=application/atom+xml`

- 4 資格情報を入力して、データソースに接続します。
- 5 [OK]をクリックします。
- 6 上記のデータソースを使ってデータセットを追加します。
- 7 [レポートに埋め込まれたデータセットを使う]を選択します。
- 8 リストからデータセットを選択します。
- 9 クエリーを次のように設定します。

```
<Query>
  <ElementPath IgnoreNamespaces="true">
    feed{/entry{/content{/properties
  </ElementPath>
</Query>
```

- 10 [フィールドの更新]をクリックします。
- 11 SSRS レポートのレポートデータとして新規データセットを使います。

## OData エラーのトラブルシューティング

表 6-21 では、Compliance Accelerator データセットにアクセスしたときに表示されるエラーと該当する HTTP エラー状態コードについて説明します。

表 6-21                      エラーメッセージと HTTP コード

HTTP コード	メッセージテキスト	説明
204	このデータセットのコンテンツは利用できません。	アクセスしたいデータセットには情報がありません。
400	要求の形式が無効です。	OData の URL の形式が正しくない可能性があります。
401	アクセスが拒否されました。このデータセットを表示する権限がありません。	データセットにアクセスするために必要な権限がありません。
501	データセットの情報を取得するときに例外が起きました。	指定したデータセットの情報を取り込むときに内部エラーが起きました。